

第七十四回
帝國議會
貴族院

職員健康保險法案特別委員會會議事速記録第二號

付託議案(追加)

船員保險法案

昭和十四年三月十七日(金曜日)午前十時
五十分開會

○委員長(男爵大森佳一君) 開會致シマス、

大臣ハ本會議ノ方ニ船員保險ノ上程ガアリ
マスルノデ暫ク見エマセヌサウデス、大臣
ニ對スル御質問ハ少シ後ニシテ戴キマスル
ト結構ダト思ヒマス、大臣ヲ要セザル御質
問ヲ此ノ際願ヒマシタラ如何カト思ヒマス、
園田男爵ノ御質問ハ、大臣ニ對スル御質問
デスカ

○男爵園田武彦君 左様デゴザイマス

○濱口儀兵衛君 ソレデハ唯此ノ條文ニ付
テ分ラヌ所ダケ先ニチョット伺ヒタイノデ
スガ

○委員長(男爵大森佳一君) ドウゾ

○濱口儀兵衛君 第一條ニアル此ノ世帯員
ト云フノハ、ドウ云フ風ナ範圍ヲ世帯員ト
云フコトニナツテ居ルノデセウカ、假ニ其ノ
家ニ居ルモノデアレバ、直系ノ關係ガナク
テモ、或ハオ祖父サントカ、從兄弟ト云フ風
ナ類デモ、其ノ人ガ世話シテ居ルナラ矢張
リ世帯員ト看做セル譯デスカ

○政府委員(佐藤基君) 此ノ世帯員ノ範圍

デゴザイマスガ、此ノ職員健康保險法ノ第
一條第二項ノ中ニ規定シテゴザイマスルガ、
是ハ此ノ勅令ハ、豫算ノ關係ガアリマシテ
直グ法律施行ト同時ニ出スコトニハ今ノ所
ナツテ居リマセヌ、ソコデ其ノ範圍ニ付キマ
シテモ十分研究ヲ要スルノデアリマスガ、
現在ノ一應ヲ考ヲ申シマスルト云フト、配
偶者、直系卑族、直系尊族、二十歳未満ノ
弟妹、不具、廢疾ノ兄弟姉妹、斯ウ云フモ
ノヲ世帯員ノ範圍ト考ヘテ居リマス

○濱口儀兵衛君 サウスルト又此處デ生計

ヲ維持スル者ト云フノガアリマスガ、是ハ
ドンナ程度ナンデセウカ、マア假ニ未丁年
ノ十七八位ノ人デ、一人デ生計ヲ維持スル
ノデハナイ、矢張りマア外ノ仕事ヲシテ生
計ヲ一部シカ持ツテ居ラヌ、サウ云フ風ナ
人ガ矢張り「サラリー・マン」デアッタ場合
ニハ、其ノ家族ハ全部世帯員ト看做シテ、
此ノ保險ニ入ルモノデゴザイマセウカ

○政府委員(佐藤基君) 生計維持ニ付キマ
シテモ、此ノ法律ニハ無條件ニ書イテアリ
マスガ、勅令デ現在豫定シテ居リマスノハ、
生計維持關係ハ割合ニ嚴格ニ解シマシテ、

被保險者ニ於テ専ラ生計ヲ維持スルト云フ

風ニシヨウト思ッテ居リマス、從ッテ其ノ世
帯員ガ「サラリー・マン」トシテ働イテ居ッテ
收入ガアルト云フヤウナモノハ、専ラ生計
ヲ被保險者ニ依ッテ維持セラレテ居ルモノ
デハナイ、從ッテ此ノ世帯員ニハ入レナイト
云フ積リデゴザイマス

○濱口儀兵衛君 サウスルトマア小商人ヲ

シテ居リマシテ、ソレノ小商人ノ收入デモ
生計ヲ維持スルノデアルケレドモ、ソレデ
モナカ／＼イカナイノデ、半分位ノモノハ、
其ノ家ノ息子ガ給料デモ取ッテ居ルト云フ風
ナ場合ハ、ドウ云フ風ニ解釋サレルノデゴ
ザイマスガ、矢張りソレハ恐ラク、コンナ
モノハ實際問題トシテハ何カ極マリガアッ
テ、ドレ位ノモノヲ、生計ヲ維持シテ居ル
者ト認メラレルモノデセウカ、何カソレニ
解釋ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(佐藤基君) 現在ノ所ハ、専ラ

生計ヲ維持スルト云フコトニ考ヘテ居リマ
スノデ、其ノ世帯員ガ收入ガアレバ、ソレ
ハ例ヘバ工場働イテ居ッテモ、或ハ又別
ニ商賣ヲシテ居ッテモ、苟モ收入ガアレバ、
被保險者ニ依ッテ専ラ維持セラレテル……

即チ専ラト云フノハ、自分ガ收入ガナクテ

被保險者ノ收入デ暮シテ居ル生計ヲ維持シ
テ居ルト云フ風ナ、非常ニ狭イ意味ニ世帯
員ヲ定義シテ行カウ、斯ウ云フ積リデ居リ
マス

○濱口儀兵衛君 實際ノ取扱ノ上デハ、是

ハ随分ムヅカシイ法ノヤウニ思ヒマスガ、
專ラト云フノハドノ邊アタリヲ專ラト言ウ
テ宜イノデスカ、小商人ヲシテ居レバ、ソ
レガ半分持ッテ居ル、收入ヲ取ッテ來タモノ
ガ半分ダカラ……、其ノ邊アタリガ分リニ
クイノデスカ、愈之ヲ實施スル時ハモット
具體的ニ御定メニナル御考デゴザイマセウ
カ

○政府委員(佐藤基君) 御話ノ通り生計維

持ト云フ關係ハナカ／＼ムヅカシイ、實際
問題トシテハナカ／＼面倒デアリマシテ、
專ラ維持スルカ、單ニ維持スルカ其ノ段階
ガ澤山アリマスノデムヅカシイ、ソコデ通
牒等ニ依リマシテ比較的外形的ニ分リ得ル
ヤウナ標準ヲ作リマシテ、ソレニ依ッテ法ヲ
運用シテ行キタイ、サウ云フ風ニ思ッテ居リ
マス

○濱口儀兵衛君 第何條デアッタカ忘レマ

シタデスガ、此ノ物品ノ販賣ヲスル業ナン
ゾハ、矢張り此ノ被保險者ノ中ニ入ル譯デ
スガ、將來ア、云フ者ハドウナッテ居ッ
デスカ、アノ健康保險法ニ掛カル工場ノ事
務員達ハ、矢張り健康保險ノ中ニ入ッテ居ッ
テナイカト思フノデスガ、併シ其ノ工場
カラ離レテ、別ノ場所ニ販賣所ガアルト云
フ風ナモノハ、ソレハ從來ドッチノ方ニ入ッ
テ居ッタカ私能ク知ラナイノデスガ、今度ハ
ソレハドシナ風ニナルノデセウカ、ソレハ
具體的ニ申上ゲマシタラ、工場ガ遠方ニアッ
テ、唯東京ニ販賣所ガアルト云フ風ナモノハ、
矢張りコ、ノ職員健康保險ノ中デ見た方ガ
宜イノデスカ、健康保險ノ方デ見た方宜イ
ノデスカ

○政府委員(佐藤基君) 從來ノ即チ現在ノ
健康保險ニ於キマシテハ工場、鑛山ニ働イ
テ居ル者ノ保險デアッテ、同ジ場所ニ所謂勞
働者デナイ職員ガ居ル場合ニハ、ソレハ強
制被保險者ニシテ居ルノデアリマス、ソレ
ハ工場、鑛山等ノ健康保險ノ適用ノアル場
所ニ働イテ居ル場所ノ關係ノ存続スル限度
ニ於テヤッテ居ルノデアリマス、從ッテ其ノ
場所カラ離レ、バ、例ヘバ工場ト店トガ外
ニアル、販賣所ガ外ニアッテ、販賣所ノ方ニ
移ルト云フコトニナルト、健康保險ノ被保

險者デナクナルノデアリマス、今度ノ職員
健康保險法ニ於キマシテハ、物品販賣業ヲ
押ヘル從ッテ事業所ヲ中心トシマシテ、從ッ
テ物品販賣所ト云フモノハ店舗、或ハ大キ
イ會社ノ事務所トカ、サウ云フ場所ニ働イ
テ居ルサウ云フ者ヲ職員健康保險ノ被保險
者ニスルノデアリマス、ソコデ今御尋ニナ
リマス點ハ、工場デ働イテ居ル場合ニハ健
康保險ト一緒ニ被保險者トナルガ、其ノ者
ガ町ノ販賣所ニ替ッテ來ルト云フコトニナ
レバ、其ノ町ガ、市又ハ主務大臣ノ指定ス
ル町村デアアル限り、使用人従事員ノ制限ガ
アリマスガ、ソレニ該當スル者ハ職員健康
保險ノ被保險者ニナルノデアリマス

○濱口儀兵衛君 サウデアッタナラバ、此ノ
工場ニ居ッタ事務員ガ此ノ都市ノ販賣所ヘ
來タ場合ニ、其ノ人ハ此ノ職員健康保險ニ
入ルシ、又其ノ人ガ半年先ニ工場ノ方ニ行ッ
タ場合ニ、工場ノ方ノ健康保險ニ入ルト云
フ風ニナッテ、ソレハドッチニシテモ任意ト
云フ譯デハナイノデゴザイマスカ、其ノコ
トガ能ク分リマセスガ……

○政府委員(佐藤基君) 今御尋ノ點ハ、所
謂強制被保險者ノ問題ト致シマシテハ御話
ノ通りデアリマシテ、工場ニ居ル場合ニハ
勞働者健康保險ノ被保險者ニナリ、ソレカ

ラ店ニ來タ場合ハ職員健康保險ノ被保險者
ニナルノデアリマス、唯此ノ法制ニ於キマ
シテ、任意包括被保險者ト云フ制度ヲ設ケ
マシテ、今ノ問題ニ關聯シタ點ガアルノデ
アリマスカ、ソレハ工場デ働イテ居ッテ從ッ
テ現在ノ勞働者ノ健康保險ノ被保險者デア
ル、處ガ其ノ人ハ職員デアアル、其ノ職員ニ
付キマシテハ今度此ノ職員健康保險法ト云
フ制度ガ出來ルノデ、現在ノ健康保險法ト
職員健康保險法トフ比ベマスト云フト、是
ハ法律デハアリマセスガ、命令以下デ規定
スルコトニナルノデアリマスカ、保險料ガ

違フ、現在ノ健康保險ニ於キマシテハ保險
料ハ百分ノ四、從ッテ被保險者ハ百分ノ二ヲ
負擔スル、今度コチラデハ百分ノ二・五ノ
保險料、從ッテ其ノ被保險者トシテハ百分
ノ一・二五ノ負擔デ、保險料ガ安イト云フ
ヤウナ關係モアリマシテ、此ノ保險ト云フ
モノガ、職員ノ特質ニ鑑ミテ多少健康保險
ト違ッテ居ル、ソコデ寧ロ一般ノ希望トシ
テ、同ジ職員デアリナガラ、自分ハ現
在ノ法制上健康保險ニ入ッテ居ル、處ガサウ
云フ者ガ職員健康保險ニ入リタイト云フ希
望ガアル場合ニ、而シテサウ云フ希望ハ、
我々ガ民間ノ關係者ニ大分聞イタ範圍ニ於
キマシテハ相當強イ希望ガアルノデアリマ

ス、ソコデサウ云フ希望ヲ達成スル爲ニ、
工場デ働イテ居ル職員ノ半數以上ガ職員健
康保險ニ入リタイ、事業主ガ又之ヲ欲スル
ト云フ場合ニハ、其ノ關係ノ職員ヲ包括シ
テ此ノ職員健康保險ノ被保險者ニ出來ルト
云フ制度ヲ作ッテ居リマス、ソコデ今ノヤウ
ナ工場デ働イテ居ッテ、其處ノ職員ノ大多數
ガ事業主ト共ニ希望スルナラバ此ノ職員健
康保險ニ入ル、サウスルト工場ニ於テモ職
員健康保險ノ被保險者ニナルシ、店ニ來マ
シテモ職員トシテ職員健康保險ノ被保險者
ニナル、サウ云フ風ナコトガ起リ得ルト思
ヒマス

○濱口儀兵衛君 モット細カク伺フノデス
ガ、サウスルト工場ニ働イテ居ル人ハ、從
來健康保險ニ入ッテ居ッタ人ガ、包括シテ二
分ノ一以上ガ同意スレバ職員健康保險ニ入
ルコトガ出來ルノデスガ、今度ハ逆ニ職員
健康保險ニ入ル人ガ、矢張り包括シテ二分
ノ一以上ガ同意スレバ、健康保險ニ入ッテ
モ構ハナイノデセウカ、健康保險ニ入リサ
ヘスレバ、職員健康保險ニ入ラズトモ宜イ
ト云フ風ニ、マア同ジコトヲ兩方カラヤリ
得ルコトニナッテ居リマスカ

○政府委員(佐藤基君) ソレハ今申シマ
シタヤウニ、健康保險ト云フモノハ大體勞

働者本位デアル、處ガ同ジ場所ニ働イテ居ル者ハ、勞務管理其ノ他ノ關係カラ職員デ

モ健康保險ニ入レルト云フ制度ヲ執ッテ居

リマス、處ガ職員健康保險ト云フモノハ、

職員ノ或程度ノ特質ヲ考ヘテ出來タ制度デ

アリマシテ、勞働者ノ健康保險ニ入ッテ居

ル職員ガ、今度ノ職員健康保險ニ入レルト

云フノハ、職員デアルガ故ニコナラニ入レ

ルト云フノデアリマシテ、而シテサウ云フ希

望ガ一般ニ相當アルト云フノデ、斯ウ云フ

制度ヲ認メタノデアリマス、逆ニ職員ノ爲

ノ健康保險ガアッテモ、職員ガ勞働者ノ爲ノ

健康保險ニ入ルト云フ制度ハ認メテ居ラヌ

ノデアリマス、ダカラ逆ニハ行ケナイ、職

員ハ健康保險ノ方カラ職員健康保險ニ入ッ

テ來ルケレドモ、職員ノ健康保險ノ方カラ

勞働者ノ健康保險ニ職員ガ入ルト云フ途ハ

開イテ居ラナイノデアリマス

○濱口儀兵衛君 十八條ノ被保險者ニナル

資格デスガ、ズット一カラ六迄並ベテ居ルノ

デスガ、之ニハ運送業トカ云フ風ナモノハ、

何ニ入ルノデゴザイマセウカ、隨分此處ニア

ル種類以外ニ相當「サラリー・マン」ノ多イ

所ガアルヤウニ思フノデスガ、大變之ニ決メ

テアル數ハ少イヤウニ思フノデスガ、ドノ

範圍迄行クノデスカ、此處ニ書イアルダケ

デハ幾ラモナイヤウニ思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(佐藤基君) 職員健康保險ノ理

想ト致シマシテハ、勿論是ダケデハ足ラヌ

ノデアリマシテ、モウ少シ範圍ヲ實ハ廣ク

シタイト思ッテ居ルノデアリマス、是ハ衆議

院ニ於キマシテモ非常ニ議論ノアツタ點デ

アッテ、此ノ保險ハ骨抜ダト云フ風ナコトヲ

非常ニ言ハレタ譯デスガ、御話ノ通り此ノ

被保險者ト云フモノハ比較的少イノデアリ

マス、大體ノ建前ト致シマシテ現在ノ健康

保險ト云フモノハ勞働者ヲ中心ニシテ居ル、

ソレデ今度ノ職員健康保險ノ方ハ「サラ

リー・マン」デアル、事業的ニ言フナラバ、現

在ノ健康保險ハ工礦業ト云フヤウナモノノ

現場のノ事業ヲ中心ニ考ヘテ居リマス、處

ガ今度ノ職員健康保險ト云フモノハ、商業

或ハ之ニ準ズルヤウナ仕事ヲ考ヘテ居リマ

ス、ソコデ其ノ理想カラ申シマスト云フト、

此處ニ掲ゲタ五ツノ事業ト云フモノハ其ノ

一部分ニ當ルノデアリマス、從ッテ將來ニ於

キマシテ此ノ六號「前各號ニ掲グルモノノ

外勅令ヲ以テ指定スル事業」トアル此ノ勅

令デ段々事業ヲ擴メテ行カウト云フ風ニ考

ヘテ居リマス、此ノ一カラ五迄ハ、比較的

所謂商業トシテ分子ノ多イモノヲ舉ゲテ

居ルノデアリマス、ソレデ今御話ノヤウ

ナ運送業ト云フヤウナモノハ之ニハ入ッテ

居リマセヌ、尙運送業ニ付キマシテ

モ、之其ノ運送業ノ所謂事務的ノ部分

ト、ソレカラ現場のナ筋肉勞働デ處理サレ

ル部分トアッテ、筋肉勞働デ處理サレル現

場的ノ仕事ニ付キマシテハ、總テ強制被保

險者ニナルノデアリマスガ、是ハ將來勞働

者ノ健康保險ノ擴張ニ依リマシテ其ノ部分

ヲ入レテ行ク、ソレカラ事務所ト云フヤウ

ナ所デ働ク、所謂頭腦勞働ト云フ風ナモノ

ニ屬スルモノハ、此ノ職員健康保險ノ將來

ノ擴張デ入レテ行クコトニナッテ居リマス、

尙現在ノ一號カラ五號迄ニ該當スル者ハ、

是ハ一昨年ノ七月ニ調ベタノデアリマスガ、

大體三十八萬人位デゴザイマシテ、之ヲ若

シモット擴メルナラバ、殊ニ此ノ使用人ノ數

ヲ、現在ニ於キマシテハ假ニ十人トシテ居

リマスガ、之ヲ更ニ現在ノ健康保險ノヤウ

ニ五人ト云フヤウニ、範圍ヲ擴張シテ行キ

マスト云フト、マダ相當殖エルコトニナル

ノデアリマス、從ッテ此ノ案ト致シマシテハ、

職員健康保險ノ目當ニスル最モ商業的ノ分

子ノ多イモノニ向ッテ適用シテ行クト云フ

建前ニナッテ居リマス

ラリー・マン」ノ方ノ中ノ、ホンノ一部ニ手

ヲ出シタヤウナモノデアリマスガ、ドウシ

テモウ少シ此ノ場合擴ゲテ置カナイノデア

リマスカ、何カ豫算ノ關係カラカ、ソナ

ヤウナコトデ今度ハマア小出シニシテ置カ

ウト云フノデアリマスカ

○政府委員(佐藤基君) ソレハ社會保險ノ

理想ト云フモノト、財政ノ現狀ト云フモノ

トノ關聯ノ問題ニモナッテ來ルノデアリマシ

テ、社會保險ノミノ理想カラ云ヘバ御話ノ

通り實ハモット廣クシタイノデアリマス、處

ガ御承知ノヤウナ財政ノ現狀デモアリマス

シ、又現在ノ勞働者ノ健康保險ニ付キマシ

テモ、當初、法ガ出來タ時ト現在ト比ベマ

スト云フト、相當現在ノ方ガ法制的ニ見マ

シテモ範圍ヲ擴大シテ居ルノデアリマス、

斯ウ云フ風ナ社會立法ト云フモノハ、大體

漸進主義ヲ執ルト云フコトガ今迄ノ經緯デ

アリマシテ、サウ云フ點モ考ヘマシテ、原

案トシマシテハ、或ハ社會政策的見地カラ云

ヘバ不滿ノ點モ相當アルノデアリマスガ、

財政ノ現狀ナリ、或ハ從來ノ社會立法ノ考

ヘ方カラ考ヘマシテ漸進主義デ行ク、ソコ

デ斯ウ云フ風ニ範圍ガ相當狹クナッテ居リ

マスト云フコトニナッテ居リマス

○濱口儀兵衛君 此ノ十八條ノ二ノ「金融

又ハ保險ニ關スル事業」中デ、保險勸誘員ト云フノハ、アレハ一體何ニ入ルノデスカ、此ノ場合矢張り「サラリー・マン」トシテ、或意味デ言ッタ請負ヲシテ居ルヤウナモノデスカ、アレハ「サラリー・マン」中ニ入ルノデアリマスカ、ソレハ別ノ扱ヒニナル御考デセウカ、色々ナモノニサウ云フモノガアルト思ヒマスカ……

○政府委員(佐藤基君) 保險ノ勸誘員ト申シマシテモ、會社トドウ云フ契約ニナッテ居リマスカ、會社ノ普通ノ使用人ト考ヘレバ、金融又ハ保險ニ關スル事業ニ屬スルモノト考ヘラレルシ、又之ガ媒介周旋、請負ト云フ關係デ働イテ居ル場合ニハ他ノ規定デ行ク、要スルニ保險ノ勸誘員ト云フ者ハ色々ナノガゴザイマシテ、商工省デ言ッテ居ル狭イ意味ノ保險ノ勸誘員、殊ニ會社ニ使ハレテ居ルト云フ關係ニナレバ、サウスレバニア「金融又ハ保險ニ關スル事業」、其ノ使用人トシテ此ノ方ニ入ッテ來ル譯デアリマス

○濱口儀兵衛君 モウ一ツ伺ッテ置キマスカ七十六條ニ「少額ノ報酬ヲ受クル被保險者」云々トアリマスカ、ソレハ給料ヲドノ位ニ御考ニナッテ居リマセウカ

○政府委員(佐藤基君) 報酬月額二十圓位ヲ限界トシマシテ、ソレヨリ少イモノガ少

額ノ報酬ト云フ中ニ入ルト思フテ居リマス

○濱口儀兵衛君 私ノ質問ハ差當リ是デ終リマス

○河井彌八君 今ノ濱口サンノ御質問ニ關聯シテ居リマスカ……、職員健康保險制度案要旨、其ノ被保險者ノ範圍、先刻運送業ハドウカト云フヤウナコトガアリマシタガ、此ノ列舉シテアリマス一カラ五以外ニ、即チ第六ノ「勸令ヲ以テ指定スル事業」ト云フモノハドウ云フモノヲ申シマスカ、其ノ範圍ヲ一ツ御聽キシタイ、是ハ運送業ナシカ入ラナイノデスカ

○政府委員(佐藤基君) 勸令ヲ以テ指定スル事業ト云フノハ、例ヘバ興行、遊技場又ハ娛樂場ニ關スル事業デアルトカ、或ハ旅館、下宿、料理店、飲食店、又ハ貸席ニ關スル事業、浴場又ハ理容ニ關スル事業、通信又ハ放送ニ關スル事業、醫療、療術行爲又ハ助産ニ關スル事業、其ノ外、物ノ製造、加工、選別、包裝、修理若ハ解體ニ關スル事業、礦物ノ採掘又ハ採取ニ關スル事業、貨物又ハ旅客ノ運送ニ關スル事業、サウ云フ風ナ、將來ヲ申シマスト、大體總テノ職員ヲ使ッテ居ルヤウナ業態ヲ包括スルト云フノガ、職員保險トシテノ理想トナル譯デアリマス、唯今度ノ案ニハ、總テノ事業ヲ包

括致シマシテ、現場的ノ事業ト云フモノハ、其ノ現場ノ部分ト然ラザル部分ニ區別シマシテ、然ラザル部分ニ付テ職員健康保險法ヲ適用スル、現場的ノ事業ノ方ハ現在ノ労働者健康保險法ノ方ヲ擴張シテ、ソチヲノ方ニ入レテ行クコトニナルト思ヒマス

○河井彌八君 其ノ點ハ分リマシタ、サウスルト、今ノ運送業ト云フモノモ此ノ中ニ入ル、斯ウ云フ御答デアリマスネ、ソレカラモウ一點伺ヒマス、一體第六トシテ舉ゲテ居ル「勸令ヲ以テ指定スル事業」ト云フモノノ適用ヲ受クベキ強制被保險者ノ數ト云フモノハ、ドンナモノデスカ

○政府委員(佐藤基君) 數ハ、此ノ前此ノ案ヲ作ル時ニ一應ノ調査ヲシタモノガアリマスカ、ソレニ依リマスト云フト、此ノ案ト大分變ッテ居リマスカ、適用範圍ハ市又ハ指定スル町村デアリマスカ、事業ニ付キマシテ其ノ時ノ調査ト致シマシテハ、現在ノ労働者ノ健康保險ト同ジヤウニ五人以上ヲ使ッテ居ル事業デアリマシタガ、今度ノハ十人以上トナッテ居リマスカ、大分違ッテ居リマスカ、其ノ時ニ於キマシテハ大體七十六萬人ノ被保險者ガアルト云フ風ナ計算ニナッテ居リマス

ノハ……第五迄舉ゲタノハ此ノ法律ヲ最近ニ適用スルノデアッテ、六ト云フノハ將來ヤラウト云フ御考ナンデアリマスカ、サウ云フ意味ナンデスカ

○政府委員(佐藤基君) サウデゴザイマスカ、保險給付ノ點デアリマスカ、從來ノ健康保險法ト今度ノ職員健康保險法ト、ドウ云フ風ニ保險ノ給付ニ關シテ違フノデアリマスカ、大體ノ所ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(佐藤基君) 先ヅ療養ノ給付デアリマスカ、療養ノ給付ニ付キマシテハ、療養ノ給付ヲスルト云フコトハ同ジデアリマスカ、其ノ方法ガ現在ノ労働者ノ健康保險ニ於キマシテハ所謂現物給付、治療ヲシテヤルト云フコトヲ原則ニシテ居ルノデアリマス、處ガ今度ノ制度ニ於キマシテハ治療ヲシテヤルノデナシニ、療養費ヲ支給スルト云フノヲ原則ニスル、其ノ療養ノ給付ノ方法ニ於キマシテ、現物ニ依ルカ、現金ニ依ルカト云フ原則ガ異ッテ居リマス、ソレカラ傷病手當金ニ付キマシテハ、傷病手當金ノ所謂待期ト申シマスカ、傷病ニナッテ療養ノ爲ニ勞務ニ服スルコトガ出來ナイト云フ場合ニ手當金ヲ支給スルノデアリマスカ、

其ノ待期ガ健康保險ニ於キマシテハ三日、

業務上ノ傷病ハ三日經ッテ四日目カラヤル、

今度ノ保險ニ於キマシテハ月給者ニ付キマ

シテハ四月目カラヤル、日給者ニ付キマシ

テハ十一日目カラヤル、其ノ待期ガ違ヒマ

ス、ソレカラ傷病手當金ノ額ニ於キマシテ

ハ、勞働者ニ付キマシテハ報酬日額ニ付キ

マシテ百分ノ六十ヲヤル、此ノ保險ニ於キ

マシテハ百分ノ五十ト云フコトニシテ居リ

マス、從ッテ出產手當金ニ付キマシテモ、率

ガ現在ノ健康保險ニ於キマシテハ百分ノ六

十デアルガ、今度ノ保險ハ百分ノ五十、主

ナ相違點ハ大體其ノ位デアリマス

○男爵小池正晃君 佐藤政府委員ノ今ノ御

話デ大體ノ異ナル點ハ諒解出來マシタ、要

スルニ金ヲ給付スルノデ、醫療ノ給付ハ金

ヲ給付スルノ本則トナサルト云フ御話ガ

アリマシタガ、矢張り手續上、此ノ勅令ノ

方ノ手續ヲ見マスルト、參考資料ノ勅令案

ノ要綱ノ二十三頁ノ第七十九ノ「療養費ノ

支給ハ左ノ規定ニ依ルコト」ト云フ所カラ

考ヘマスルト、矢張り醫者ノ治療ヲシテ貰

テ金ヲ請求スルヤウニナルノデハナイカ、

本人ハ金ヲ貰フ譯デヤナイラシイデスナ、

被保險者ガ金ヲ貰フノデスカ、現金給付ト

ガ……

○政府委員(佐藤基君) 現金給付ト申シマ

スガ、是ハ大部分ノモノト致シマシテハ、

被保險者ト醫者トガ協定ヲシマシテ、サウシ

テ斯ウ云フ病氣ニハ幾ラ金ヲヤルト云フ額

ヲ決メマス、若シソレヲ決メナイト云フト、

各醫者ニ依リマシテ、素人カラ見レバサウ

違ハナイヤウナ療養デアッデモ、非常ニ値段

ガ違フト云フ問題モアリマスシ、又成ルベ

ク安クシナイト云フト、斯ウ云フ風ナ下級

ナ「サラリー・マン」ト云フ者ハナカ、醫

療ガ受ケラレナイト云フ關係ガアリマスノ

デ、醫者ト協定致シマシテ、療養費ト云フ

モノヲ成ルベク安ク、而モ醫療ノ低下シナ

イヤウナ範圍ニ於テ適當ナ額ヲ決メマシテ、

サウ云フモノヲ指定醫トシテ、サウシテ被

保險者ハ指定醫ノ所ニ行ッテ診テ貰ヒマシ

テ、尙先程申シ落シマシタガ、療養費ニ付

キマシテモ、全額ハ支給シナイ、八割ヲ支

給スル、ソコデ被保險者ハ指定醫ノ所ニ行

キマシテ残りノ二割ヲ現金デ拂フ、後ノ八

割ニ付キマシテハ、醫者ガ被保險者ノ委任

ヲ受ケテ、保險者ニ對シテ金ヲ請求スル、

ソレニ依リマシテ、被保險者ト醫者トノ間

ノ決濟ヲ濟マセル、サウ云フ風ナノガ普通

指定醫ノ所へ行カナイデ、其ノ外ノ醫者へ

行ッテ治療ヲ受ケルト云フ場合ニ於キマシテ

ハ、是ハ結局被保險者ガ直接金ヲ渡スト云

フコトニ大體ナラウト思ッテ居リマス

○男爵小池正晃君 ソレデ政府委員ガ衆議

院ノ委員會デ御答ヘニナツタ所ニ依リマス

ルト、現金給付ヲ主トスルノデアルカラ、

醫者ノ選擇ハ從來ニ較ベテ自由デアルト

言ハレマシタガ、ソレデハ其ノ自由ト云

フノモノ一々許可ヲ受ケナケレバナラスノ

デ、被保險者ガ勝手ニ醫者ニ行クト云フ意

味デヤナイト云フ意味デスネ、サウ思ハレ

ルノデスガ……、現行保險法ヨリハ醫者ノ

選擇ガ自由デアルト云フ意味ヲモウ少シ御

説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(佐藤基君) 自由ト申シマスノ

ハ、是ハ矢張り現金給付デアリマスカラ、

被保險者トシテハ何處ヘデモ行ケル譯デア

リマスガ、其ノ意味ニ於テ自由デアリマス、

併シナガラ比較的安イト申シマスガ、大多

數ノ者ガ利用シ得ルヤウナ醫者ト云フモノ

ハ、指定醫ニスルノデアリマスカラ、指定

醫ノ範圍ニ付キマシテハ、現在ノ健康保險

ニモアリマスガ、大體ア、云フ醫者ハ成ル

ベク指定シ、尙ソレヨリモ廣クヤリタイト

(副委員長子爵實吉純郎君 委員長席ニ

著ク)

○下村宏君 參考統計ヲ小原委員カラノ請

求ニ依リ頂戴シテ非常ニ仕合せト存ジマス、

少シ御手数カモ知レスガ、モウ少シ資料

ヲ頂戴シタイノト、ソレカラ説明ヲ願ヒ

タイ、文部省ノ各學生ナリ生徒ノ色々個々

ノ資料ヲ頂戴シテ居リマスガ、尙一ツ御手

數デスガ、文部省ノ方ニモ調ガアルト思ヒ

マスガ、小學校ナリ中學校ナリソレ以上ノ

學生ノ病氣ニ依ル缺席、或ハ休學、退學、

サウ云フ方面ニ關スル統計ヲ戴クト仕合せ

ト思ヒマス、ソレカラ此ノ「學生、生徒及

兒童ノ體位ニ關スル統計」ト云フモノデ、

平均ノ身長ト體重ト胸圍ノソレ、調ヲ戴

イデアリマスガ、自分達ハ近來身長ハ皆伸

ビテ行クケレドモ、體重ナリ胸圍ガ之ニ伴

ハナイカラ、體位トシテハ矢張りドウモ下ッ

テ行クノダト云フヤウニ聞イテ居ルノデア

リマスガ、此ノ表ニ依ルト、胸圍ノ殖エ

方ガ身長ノ伸ビルノニ比例シテ非常ニ少イ

ヤウデスガ、體重ハ多少矢張り増シテ居リ

マスガ、ソレモ身長ト體重ト、ソレカラ胸

圍トノ比較ガ、詰リ體位ガ良イカ悪イカト

云フコトヲ決メル一ツノ標準ニナルト思フ

身長ハ斯ウ云フ風ニ伸ビテ行ッテ居ル、體重ナリ胸圍ハ斯ウナッテ居ル、ソレガ詰リ歷然トスルト、體位トシテハ良クナッテ行ッテ居ルノカ惡クナッテ居ルノカ、サウ云フ何ト云フカ比較シテ批判ト言ヒマスガ、サウ云フモノガ頂戴出來ルト仕合セト思ヒマス、ソレカラ例ヘバ花柳病患者ノ推定數ニハ、備考ニ、靜岡縣醫師會ガ調ベタモノデ全體ヲ唯此處ニ推シテアルノダト斯ウナッテ居リマスルガ、是ガ矢張り唯醫者ニ權ッテ居ル者ダケノヤウニ此處ニ書イテアリマス、其ノ前ノ頁ニ結核病患者ノ推定數ガアリマスガ、是ハ日本醫師會ガ、全國ノ開業醫、官公署其ノ他會社工場等ノ經營ニ係ル一切ノ診療機關ニ付テ、當日治療ヲ受ケツ、アル者ヲ示スモノトスト斯ウナッテ居リマス、デ此ノ備考ガアルノデ或程度想像ハ付キマスルガ、此ノ見透シガ全國ノ結核病患者ノ推定數トナッテ居リマス、サウスルト其ノ推定數ガ男女合セテ約二十萬人ニシカ過ギナイ、今日本デ一番大キナ問題ハ結核ノ問題デアッテ、自分達ハ此ノ前ニ示シテアル結核ノ死亡ノ數ガ大體今十何萬デシタカ、結核ノ死亡數ガ、實數ガ昭和十一年ガ十四萬、ソレデ大體ハ死亡ノ數ノ十倍、サウスルト百四十五萬ト云フモノガ患者デアルト云フヤウニ、我々其ノ筋ノ

人達カラ言ハレ、外國デモサウ云フ比率ニナッテ居リ、又サウ云フ見當カラ療養所ナドノ計畫ナドモ考ヘラレテ居ルノデアリマスカラ、若シソレガ正シイトスルト、是ハ二十萬人デナクテ百四十五萬人位トナラネバナラス譯デスガ、チョット此處デ「全國結核病患者推定數」トナッテ居ルト、全國ノ結核病患者ハ二十萬位ナモノト云フト、可成リ誤解ヲ來スカト思フ譯デス、ソレトモ二十萬位デアレバ非常ニ結構デアリマスガ、此ノ推定ナリ備考ガ少シ不備デナイカト云フヤウナ氣モスルノデアリマス、何カ譯ガアレバソレモ併セテ承ッテ置キマス、取敢ズソレダケ希望シテ御意見ヲ聽イテ置キマス

○政府委員(佐藤其君) 今ノ全國ノ結核病患者推定數デアリマスガ、此ノ數ガ違ッテ居ルノハ、大體斯ウ云フコトニ依ルノデヤナイカト思ヒマス、是ハ備考ニ書イテアリマース通り、七月三日現在デアリマシテ、其ノ日ノ現在ヲ押ヘルノデアッテ、百四十萬ト云フ方ハ一年ヲ通ジテト云フ問題デナイカト思ヒマス、ソコデ結核デモ、大體結核ト言ヘバ長イ病氣デアリマスガ、比較的長イ、三箇月トカ、六箇月デ治ルト云フ者モアルノデ、サウ云フ關係デ多少此ノ數字ガ違ッテ來ルノデヤナイカト思ヒマスガ、尙其ノ點

ハ能ク調べマス

○下村宏君 私意見ヲ闡ハス積リデハナイノダガ、サウ御答辯ニナルト又色々言ヒタクナルノダガ、百四十五萬ト云ウテ是ハ一年中、是ハ一日ダケ、七月三日ダト云フト、是ヘ又三百六十五日掛ケナケレバナラスト云フコトニナッテ來ル、サウ云フノデヤナイ、大體我々全國結核病患者ハドノ位アルカト云フト、一日ニ幾ラト云フコトヲ言ッテ居ルノデナクテ、大體今ノ死亡者ハ、一年中ニ死亡シタ者モ、患者モ其ノ一年中ノ患者デアリマスカラ、要スルニ此ノ名前ヲ、サウ云フコトデ間違ガ起ラヌヤウニ御書キニナツクラ宜イ、却テ斯ウ云フコトデ誤解ヲ起シテハイカスト云フコトヲ言ッテ居ルノデ其ノ點ハ更ニ、モウ特ニ御答辯ハ要ラヌカモ知レマセヌガ、普通ニ謂フ全國ノ推定患者ト云フヤウナコトニシテ、御直シヲ願ッタラ宜イノデアリマス、其ノ他ノコトハ先程申シヤウナ調査ヲ若シ戴ケレバ仕合セデアリマス

○男爵園田武彦君 昨日ノ委員會ニ於キマシテ、厚生大臣ヨリ本案ノ提出ノ理由ニ付テ御説明ヲ伺ッタノデアリマスルガ、本案ガ職員ノ健康上、又生活ノ安定ニ寄與サレルコトヲ目的トセラレテ居ル點ヲ明カニセラレタノデアリマスルガ、私ハ此ノ法案ノ趣旨ト目的ヲ貫徹セラレマスル所ノ根本對策ニ付キマシテ、厚生大臣ノ御所見ヲ一應伺ッテ置キタイト存ズルノデアリマス、現代ノ斯様ナ複雑セル社會機構ノ上ニ於キマシテ、生活ノ安定ヲ圖ル第一ノ條件ハ各自ノ健康ガ最も重大ナコトデアリマシテ、是ハ一ツノ資本トモ考ヘルベキモノデアリマシテ、生存競争ノ激シイ中ニ在リマシテ、健康者デナケレバ、有ラユル困苦艱難ニ打克チ且之ヲ切抜ケテ行クコトハ不可能ト私ハ信ズルノデアリマスガ、私ハ常ニ疑惑ヲ持ッテ居ル點ハ、文化ノ進展ト醫學、醫術ガ今日ノ如ク發達ヲ遂ゲテ居リマスルニモ拘ラズ、我々國民ノ體位ガ之ニ逆比例シテ惡化、低下シツ、アル事實ニ付キマシテ、屢、議會ヲ通ジテ論議セラレテ居ルノデアリマシテ、陸軍當局モ壯丁ノ體位其ノ他ニ付テ此ノ點ヲ十分ニ認メラレテ居ラレルノデアリマスガ、之ニ對シテ必ズヤ根本ノ理由ト、之ガ對策ヲ考ヘラレテ行カナケレバナラスト考ヘマスガ、政府ガ如何ニ良イ法案ヲ御提出ニ相成リマシテモ、恰モ河ノ上流ヲ清メズシテ其ノ下流ヲ清メムト努力セラレルガ如キ結果トナリマシテ、本案ノ趣旨ト其ノ目的ノ達成セラレザルコ

トニ相成ルコトヲ私ハ憂フル者デアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ厚生省トシテハ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレルノデアリマスガ、文化ノ進展ト國民體位ノ低下ノ根本原因ガドウ云フ所ニアルカト云フ點ニ付テ、厚生省トシテ根本對策ヲ御考ニナツテ居ル點ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、私ハ一二ノ例ヲ申上ゲマスレバ、都市ニ於キマシテ現代

的ノ鐵筋「コンクリート」ノ建築ガ出來マスレバ、其處ニ是ガ完成スルヤ否ヤ直チニ會社ノ職員ガ多數之ニ入りマシテ、直チニ事務ヲ執ルノデアリマス、其ノ「コンクリート」建築ハ少クトモ二三年間ハ水分ガ取レナイノデアリマシテ、是カラ色々ノ病源ヲ發スルヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、例ヘバ「リニューマチス」ト云フヤウナモノデアリマシテ、外國デハ諺ニ、新建築ニハ先ヅ以テ敵ヲ入レロト云フヤウナコトヲ申シテ居ルノハ、非常ニ健康ニ惡イト云フ意味ヲ物語ツテ居ルト私ハ考ヘルノデアリマス、地下室ハ勿論ノコトデアリマスガ、又道路ガ最近鋪裝セラレテ來ルノデアリマスルガ、之ニハ多量ノ「ピッチ」ヲ使用スルノデアリマスガ、此ノ「ピッチ」ガ色々ノ交通機關ニ依リマシテ摩擦セラレテ、之ガ粉末トシテ撒布セラレマシテ、是ガ一般國民ノ内臟ニ重

大ナル影響ヲ及スト云フコトモ伺ツテ居ルノデアリマスルガ、是等ノ點ニ付テモ或ハ何カ御研究ニナツテ居ルモノト存ジマス、其ノ他堀デアルトカ、溝等ノ下水、色々ノ處理ハ總テ國民ノ健康ニ非常ナ有害ナ事柄ガ多クアルノデアリマス

〔委員長長男爵大森佳一君委員長席ニ復ス〕

最近燃料關係ト致シマシテ、政府ハ木炭瓦斯ノ使用ヲ獎勵セラレテ居ルノデアリマスルガ、此ノ木炭瓦斯カラ發生シマス所ノ二酸化炭素ナルモノハ極メテ有害ナモノデアリマシテ、「フランス」ニ於キマシテハ乗合其ノ他ハ一般市民ニ有害デアルト云フコトカラ禁止セラレタヤウニ承知致シテ居ルノデアリマスルガ、現在ニハ非常時局ノ關係上我が國ニ於テハ之ヲ將ニ御實行ニ移サムト致シテ居ルノデアリマス、斯様ナ種々ナコトガ知ラズ識ラズシテ國民ニ害ヲ流シテ居ルト云フ結果ニ相成ルノデアリマスルガ、是ハ極メテ私ハ重大ナコトト思フノデアリマス、又其ノ他煤煙ノ如キコトハ英國アタリデハ非常ナ嚴重ナ取締ヲシテ居ルノデアリマス、又「ドイツ」ノ或都市ニ於キマシテハ、建築ノ高サヲ一定ニシマシテ、サウシテ是カラ日光ヲ受ケルコトヲ平均ニセシメ

ルト云フ目的デ、確カ五階ニ限ラレテ全部ヲ一定シテ居ル町モ見聞致シタノデアリマス、只今申上ゲタ例ハ、或ハ是ガ國民ノ體位ニ直接非常ナ惡イ結果トナツテ居リマスカドウカ、私ハ此處デ斷定ヲ致シ兼ネルノデアリマスルガ、何レニシテモ非常ナ有害ナコトガ、我が國ニ於テハ現在嚴重ナ取締ガセラレテ居リマセズデ、平氣デ行ハレテ居ルト云フ點ニ付キマシテ、遺憾ナ點ガ多

イヤウニ思フノデアリマスガ、此ノ法案ニ關聯致シマシテ政府、厚生省トシテハ此ノ體位ノ低下ト云フコトヲ御認ニナツテ居リマスガ、之ニ對スル根本對策等ニ付テノ御研究ガドウ云フ程度ニナツテ居リマスガ、大臣ノ御所見ヲ一應伺ツテ置キタイト思フノデス、或ハ是ハ取締ハ内務省所管デアリ、又自動車ノ問題ハ商工省ノ關係デアアルカトモ考ヘマスケレドモ、此ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ承リタイト存ジマス

○國務大臣(廣瀨久忠君) 只今ノ問題ハ根本的ニ國民ノ體位ヲ向上セシムル對策ヲドウ云フ工合ニ考ヘテ居ルカト云フコトガ眼目ノヤウニ窺ハレルノデアリマス、之ニ付キマシテハ非常ニ是ハ重大ナ、又ムヅカシイ問題デアリマシテ、厚生省、以前カラ衛生局或ハ社會局其ノ他ニ於テモ色々研究ヲ

致シテ居ル譯デアリマスルガ、要スルニ國民ノ生活自體ノ改善ヲ要スル點ガ非常ニ多イヤウニ思ハレマス、併シハ容易ニ一朝一夕ニハマア出來ナイコトデアアルノデアリマスガ、生活自體ニ付テ、榮養ノ問題デアルトカ、或ハ環境ノ衛生ヲ宜クスルト云フ問題、其ノ外生活ニ付テノ安定ヲ得セシメルト云フヤウナ問題ガ、ドウシテモ根本ニナルノデアリマス、ソコデ今御觸レニナリマシタ例トシテ御舉ゲノ問題ハ、主ニ此ノ生活自體ニ觸レテ、サウシテソレハ環境衛生トデモ申シマセウカ、或ハ建築物ニ關スル問題、或ハ下水其ノ他汚物處理ニ關スル問題、或ハ煤煙其ノ他ノ問題、左様ナ例ヲ御舉ゲデアリマスルガ、是等ノ問題ニ付キマシテモ以前ヨリ相當ノ研究ハサレテ居ルノデアリマス、併シナガラナカノ思フヤウニハ參リマセズ、建築物等ニ付テハ御承知ノヤウニ建築物法ナルモノガアリマシテ、矢張り相當ノ制限ヲ加ヘテ居リマス、採光、換氣等ニ付テモ相當ナコトハ致シテ居リマスガ、併シナカノ是ガ全國的ニ行ハレテ居ルト云フ譯ニ參リマセズノデ、市街地ニ主トシテ行ハレルト云フ譯デ、農村ノ建物、家屋ノ改善、是等ノコトニ付テハ現ニ厚生省トシテ色々指導ヲ加ヘツ、アルノデアリ

マス、ソレカラ尙煤煙ノ問題ナドニ付テハ、是ハ矢張り工場關係デ災害ノ問題等ト致シマシテ、色々完全燃焼ノ問題ニ付テモ注意ヲ致シテ居リマスガ、マ、十分ニ行カナイ點ガアラウカト存ジマス、ソレカラ大都市ニ於ケル汚物處理ノ問題ハ非常ニムツカシイ問題デ、東京ニ於キマシテモマダ下水道ガ半分位シカ出來テ居ラヌノデハナイカト思フノデスガ、其ノ爲ニ色々ナ問題ガアル、是等ニ付キマシテハ根本的ニ考ヘテ、現ニ東京市等ト折衝シテ段々進メツ、アル譯デアリマス、其ノ外木炭ニ關スル問題ニ付キマシテハ、私今何トモ研究ノ結果ヲ申上ゲラレマセヌガ、此ノ炭素ノ瓦斯ノ有害ナコトニ付キマシテハ私共聞イテ居ルノデアリマス、之ニ付テモ尙研究ヲ致シタイ、要スルニ御質問ノ御趣旨ハ、斯ウ云フヤウナ立法ヲ出シテモ、根本問題ガグラツイテ居ッタノデハ駄目デハナイカト云フ御趣旨ガラウト思ヒマス、之ニ付キマシテハナカ／＼簡單ニハ參リマセヌガ、先ヅ生活上ノ改善ヲ致ストカ、ソレカラ或ハ乳幼兒ノ保護、兒童ノ學校ニ於ケル保護ト云フヤウナ問題、ソレカラ尙生活ノ防貧、救貧ト云フヤウナ問題、是等ノ問題ガ總テ根本ニナリマスノデ、私ノ省ノ行政ハ殆ド其ノ「根本問題」ニ向ッテ進

ンデハ居ル譯デアリマス、十分ニハ參ッテ居リマセヌガ、私ノ省ノ行政ガ、全部ガ生活ノ安定、ソレカラ向上、衛生ノ改善、斯ウ云フコトニ向ッテ居ル譯デアリマス、ソレ等ノ基礎ノ上ニ或ハ健康保險ノ制度ヲ設ケルトカ、共ノ他各種ノ立法ヲスルト云フヤウナトコトニ致シマシテ、兩々相俟テ完璧ヲ圖ラウト云フコトニ段々ト進ミツ、アル譯デアリマス、大體私ノ考ヲ申上ゲマス

○男爵園田武彦君 只今厚生大臣ヨリ私ノ御尋ネシマシタコトニ付テ御答辯ヲ戴キマシタ、種々ノ根本對策ニ付テハ目下御研究ヲ進メラレテ居ルト云フ御答辯デアリマシタガ、何卒右ノ點ハ極メテ健康上ニ重大關係ヲ持ツ事項デアリマスルカラ、此ノ點ニ付テ御努力アラムコトヲ切ニ御願ヒスル次第デアリマス、更ニモウ一點御伺ヒ致シタイノハ、政府ハ保險ニ關スル種々ナル法案ヲ御出シニナツテ居ルノデアリマスルガ、現在既成會社トシテ生命保險會社等ガゴザイマスルガ、色々ナ點ニ於テ之ニ侵蝕スルヤウナ虞ハナイノデアリマセウカ、又政府トシテハ此ノ保險業全般ニ互ッテ、將來國營トセラル、ヤウナ御意思ハ「御持チニナツテ居リマセヌカ、御差支ノナイ程度ニ於テ承ルコトガ出來レバ仕合セト存ジマス

○國務大臣(廣瀬久忠君) 此ノ生命保險ノ國營ト云フヤウナ問題ハ、屢、論議ヲ聞クノデアリマスガ、政府デハ今生命保險國營ノ考ハ持ッテ居リマセヌ、此ノ問題ニ付キマシテハ將來十分ニ研究ヲ重ネタイト思ッテ居リマス、尙現ニ私ノ省デ行ッテ居リマスル色々ナ保險ガ、民間ノ保險ニ浸蝕ヲシ、壓迫ヲスルト云フヤウナコトハナイカト云フ御質問ノ御趣旨ノヤウデアリマスガ、是等ノ問題ハ労働者ノ健康保險トシマシテモ、職員健康保險トシマシテモ、ソレカラ尙後カラ參リマス船員保險トシマシテモ、是ハ皆健康ノ保險デアリマシテ、生命保險デハナイコトハ申上ゲル迄モナイノデアリマス、デ是等ハ全然民間ノ事業ヲ壓迫スルト云フウヤニハ考ヘテ居リマセヌ、此ノ點ハ寧ロ相伴ッテ行ケルモノダト、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス

○男爵園田武彦君 只今モ御伺ヒシマシタ紙觸スルカ否ヤト云フ問題ハ、此ノ法案ノ實施ノ曉ニ於テハ、現在知識階級ノ者ガ、生命保險ニ加入シテ居リマスル者ガ、今回強制的ニ之ニ加入サセルト云フコトニ相成リマスレバ、其ノ負擔ノ點ニ付テドウ云フヤウナ關係ニナリマセウカ、是ハ生命保險ト申シマシテモ、矢張り此處ニ謳ッテアリ

マスル法案ニアリマスル死亡ノ場合トカ、埋葬料ノ支給ト云フコトヲ考慮シマシテ、勿論生命保險ニ入ッテ居ラレルノガラウト思ヒマスガ、サウ云フ關係ハドウ云フ風ニナッテ居リマセウカ、私専門的デアリマセヌカラ……政府委員カラデ結構デアリマスカ……

○政府委員(進藤誠一君) 健康保險ト生命保險トガ、其ノ目的カラ言ヘバ性質ガ違フト云フコトハ、大臣カラ申サレタ通りデアリマスガ、只今園田男爵ノ御質問ハ、性質ハ違ッテ居ッテモ、加入者ガ負擔スル保險料ト云フモノハ同ジ懷カラ出ルノデアリマスカ、其ノ意味ニ於テ抵觸スルコトハナイカ、斯ウ云フ御尋ト拜承致シマシタ、ソレデ此ノ健康保險ハ何レモ中産階級以下ノ社會的保險デアリマシテ、此ノ加入者ノ最高限ヲ月給百圓以下、是ハ現在ノ労働者ノ健康保險モサウナッテ居リマスガ、今度ノ職員健康保險モ百圓以下ノ者デアリマス、從ヒマシテ是等ハ大體私共ノ見ル所デハ、民間生命保險ニ加入シテ居ルト云フヨリモ、政府ノヤッテ居ル簡易生命保險ノ加入者階級ガ大部分ト考ヘテ居リマス、御承知ノヤウニ是等ノ中産階級以下ノ者ハ、保險料ノ負擔ガ民營保險ノ一度ニ數十圓、數百圓ト云

フモノハ、負擔ガ出來ナイ階級ト考ヘマス、從ヒマシテ、之ニ對シテハ矢張り月々何十錢或ハ一圓トカ云フ風ナ僅カナ少額テ取ル簡易生命保險ノ方ノ加入者階級ナノデアリマス、ソレカラ今度ノ此ノ健康保險ノ方ハ此ノ保險料ハ非常ニ少イノデアリマス、大體此ノ職員健康保險ニ於キマシテハ百分ノ三以內デアリマシテ、ソレヲ專業主ト使用人ト半額宛負擔スルコトニナリマスカラ、即チ職員本人ガ出シマス金ハ百分ノ一半以下、一・二五デス、サウ致シマス、百圓ノモノハ一圓二十何錢程月々出セバ宜イノデアリマスカラ、極メテ少額デアリマシテ、丁度マア簡易生命保險ノ負擔額位ナモノデアリマシテ、之ニ依ツテ其ノ負擔ガ他ニ影響スルコト云フヤウナコトハマアナイノデアリマス、同時ニ一番初メニモ申シマシタヤウニ、多額ノ生命保險ヲ掛ケル階級デハナイノデアリマスカラ、此ノ點モ分野ガ違ッテ居リマスノデ、民間生命保險ニハ影響ヲ及スコトハナイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵園田武彦君 只今ノ御答ヘ了承致シタノデスガ、第十八條ノ此ノ資格ノ中ニ、一箇年ノ報酬一千二百圓ヲ超ユル者トアリマスガ、是ハ相當ノ收入者ト認メラレルヤウニ思フノデスガ、其ノ點如何デスカ

○政府委員(進藤誠一君) 超エル者ハ除クノデス

○男爵園田武彦君 サウデスカ、間違ヒマシタ、私はデ済ミマシタ

○子爵富小路隆直君 チョット今園田男爵ガ御話ニナツタ中デ、大臣ノ御答辯モアリマシタガ、チョット其ノ汚物ノ點ニ付テ今大臣ガ御話ニナリマシタガ、大都市ニ於ケル汚物ノ處理ト云フコトハ隨分只今問題ニナツテ居ルガラウト思ヒマス、殊ニ東京市ノ如キハ隨分困ルト私思フノデゴザイマスガ、ソレハ東京灣ヘ大部分ノモノハ棄テテ居ル、ソレモズット先ヘ持ッテ行ケバ宜イノデスケレドモ、隅田川アタリヘ棄テ、居ル、ソレヲ監督官廳デモ皆殆ド默認シテ居ル、是ハドウモ甚ダ不都合ナコトト思フノデス、斯ウ云フコトハ何トカ早ク方法ヲ立テ、農林省ノ方トモ御相談ニナツテ何トカシナケレバナラスト思ヒマス、百姓ハ肥料ガナクテ困ッテ居ルノデスガ、一方ニ於テ肥料ヲ棄テ、居ルト云フヤウナコトハ甚ダ不合理ナコトデ、聞ク所ニ依ルト郊外ヘ大キナ「タンク」デモ捨ヘテソレニ貯藏シテ、農民ガ自由ニソレヲ使用スルコトニナレバ大變宜イト云フヤウナコトモ聞イテ居ルノデスガ、何カ御考ニナツテオイデニナリマスカ

○國務大臣(廣瀨久忠君) 汚物處理ノ問題ハ非常ニムヅカシイ問題デ、又實際下水道ガ完全ニ發達シマスレバ相當宜イト思ヒマスガ、ナカ／＼金ガ掛リマスシ、東京市ニ於テモ現狀トシテハマダ全市ニ下水道ガ普及シテ居ラス、ソコデ今迄ハ御話ノヤウニ埼玉縣千葉縣等ニ汚物ヲ送りマシテ、サウシテ「タンク」ミタヤウナ「コンクリート」ノ容レ物ヲ作りマシテ其處ニ保存ラシテ、ソレヲ肥料ニ使フト云フコトヲ獎勵モシ、ヤッテ居ル譯デアリマス、尙併シ是等ノ點ニ付キマシテハ農林省トモ十分ニ連絡ヲ執リマシテ、肥料問題ニ付テモ效能ノアルヤウナコトデアリマスカラ、十分其ノ點ニ努力致シタイト思ヒマス、ソレカラ尙衛生上ノ見地カラ濫リニ汚物ヲ棄テナイヤウニ、之ニ付キマシテハ從來モ相當ニ取締ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、ナカ／＼徹底ヲ缺イテ居ルヤウナ點ガアルノデハナイカ、是等ニ付キマシテモ十分ニ注意ヲ致シタイト思ヒマス

○委員長(男爵大森佳一君) 船員保險法ガ午前ノ本會議デ本委員會ニ併託ニ相成リマシタ、是デ休憩致シマシテ一時半ヨリ續行致シタイト思ヒマス、午後一時半ヨリ開キマシテ、船員保險法ノ説明ヲ大臣カラ承リ

タイト思ヒマス、一時半迄休憩致シマス
午後零時一分休憩
午後一時四十一分開會

○委員長(男爵大森佳一君) 續イテ開會致シマス、船員保險法案ニ付キマシテ大臣ノ御説明ヲ此ノ際願ヒマス

○國務大臣(廣瀨久忠君) 只今議題トナリマシタ船員保險法案ニ付テ説明ヲ申上ゲマス、海運業ハ四面海ヲ環ラシテ居ル我が國ノ國情カラ見マシテ、貿易ノ發展トカ、或ハ國際收支ノ改善、或ハ生産力ノ擴充ト云フヤウナ諸點カラ見マシテ、國運ノ伸張上重要ナル關係ガアルバカリデアリマセス、一朝有事ノ際ニハ軍事上、國防上重大ナル關係ガアルコトハ申上ゲル迄モナイ譯デアリマス、海上産業ノ發達ヲ期スル爲ニハ、其ノ方策ハ色々アリマセウガ、畢竟スルニ物の方面ト致シマシテハ、優秀ナル船舶ヲ保持スルコト、人的方面ト致シマシテハ優秀ナル船員ヲ得ルコトガ肝要デアルト考ヘラレルノデアリマス、從來我が國ニ於キマシテハ、此ノ人的方面ニ關スル國家的施設ハ、物的方面ノ諸施設ニ比ベマシテ遜色ガアルノデアリマス、即チ我が國ニ於ケル船員ノ保護ニ關シマシテハ、船員法ノ中ニ若干ノ扶助ノ規定ガアリマスルノ外ハ、總テ船主ノ

施設ニ俟ツガ如キ狀況デアリマシテ、之ヲ陸上ノ勞働者ニ對スル保護施設ニ較ベマスト云フト、均衡ヲ得ナイモノガアルト言ハナケレバナラスト思ヒマス、船員保險制度ハ、海陸ニ於ケル此ノ不均衡ナル狀態ヲ是正致シマシテ、延イテハ海運業ノ隆昌ヲ圖ル上ニ最モ有効適切ナル制度トシテ、之ガ創設ノ希望ハ大正十一年第四十五回帝國議會以來問題トナリマシテ、又前議會ニ於キマシテハ衆議院ニ於テ船員保險法案ノ發議ガアツタヤウナ次第デアリマス、斯クノ如ク船員保險制度ハ多年ノ懸案デモアリマス、社會政策カラ致シマシテモ亦海運政策カラ致シマシテモ、特ニ今次ノ支那事變ヲ契機ト致シマシテ、海運ノ非常ナ發展ガ期待サレル時ニ當リマシテ、之ガ實現ヲ圖ルコトハ誠ニ必要ナコトト考ヘラレルノデアリマス、此ノ法案ノ内容ニ付テ概要ヲ御説明申上ゲマス、第一ニハ被保險者ノ範圍ハ、原則トシテ、船員保險法施行地ニ船籍港ヲ定メテ居リマスル船舶ニ乗組ム船員法ノ第一條ニ規定スル船員ト致シタノデアリマス、本制度ハ内地、外地ヲ通ジテ實施スルノデナケレバ其ノ效果ヲ缺ク虞ガアリマスノデ、關係ノ方面ト折衝致シマシテ、成ルベク内地同時ニ實施致スヤウニ準備ヲ致シテ居

ル次第デアリマス、第二ニハ保險給付ニ付テ御説明ヲ申上ゲマス、此ノ保險ニ於キマシテハ疾病、負傷、老齡、廢疾、脫退又ハ死亡ノ場合ニ於テ療養ノ給付、傷病手當金、養老年金、廢疾年金、脫退手當金又ハ死亡手當金ヲ支給スルコトト致シタノデアリマス、特ニ年金制度ヲ定メマシタノハ、御承知ノ如ク船員ガ常ニ家庭ヲ離レテ居リマシテ、不自由ナ海上生活ヲ送ル爲ニ、精神上又ハ經濟上ノ苦痛ニ伴ヒマシテ、生活ガ不安定デアルバカリデナク、海上勤務ガ長クナルニ從ヒマシテ陸上ノ生活事情ニ疎クナル爲ニ、船員ヲ辭メマシタ後ニ陸上ノ職業ヲ得ルコトハ非常ニ困難ナ事情デアリマス、即チ船員ニハ陸上ノ勤勞生活者ニ見ルコトノ出來ナイ特殊ノ事情ガ存ジマスル爲ニ、一旦船員ニナツタモノモ、機會サヘアレバ速カニ陸上ニ轉職セムトスルヤウナ傾向ガ一般ニ著シイ爲ニ、現在船員ノ勤續期間モ短イト云フヤウナ事情ニアリマス、年金制度ハ斯クノ如キ實情ニ照シマシテ設ケラレタモノデアリマシテ、此ノ年金制度ニ依リマシテ多數ノ優秀ナル船員ヲシテ、後顧ノ憂ナク安ンジテ長ク海上勤務ニ精勵セシメ、仍テ以テ海上ニ於ケル人的資源ノ確保ヲ期シ得ルモノト信ズル譯デアリマス、第三ノ費

用ノ問題ヲ申上ゲマス、此ノ制度ニ於キマシテハ、被保險者及ビ事業主ガ各折半負擔ヲ致シマス所ノ保險料ヲ收入ト致シマシテ、保險給付ノ費用ニ充デルノデアリマスガ、年金制度ヲ採入レマシタ關係上、此ノ保險料ノミヲ以テシテハ、被保險者及ビ事業主ノ負擔ガ非常ニ重クナルノデアリマス、此ノ負擔ガ重クナリマスト海運ノ對外的ノ競争力ガ弱クナル、却テ海運業ヲ萎縮セシムルト云フヤウナコトニナリマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ非常ニ慎重ニ考慮ヲ拂ヒマシテ、政府ニ於キマシテハ財政其ノ他各般ノ事情ヲ考慮致シマシテ、年金等ノ長期給付ニ要スル費用ノ五分ノ一ヲ政府ガ負擔スルコトト致シタノデアリマス、以上大體本制度ノ内容ノ主ナル點ヲ申上ゲマシタ次第デアリマスガ、本制度ハ船員保護ノ見地カラ致シマシテモ、或ハ海運政策ノ見地カラ致シマシテモ、之ガ實施ヲ圖ルコトガ現在ノ時局ニ鑑ミマシテ誠ニ必要ト考ヘル次第デアリマス

○政府委員(進藤誠一君) 差上ゲデアリマス
○委員長(男爵大森佳一君) ソレデハ船員保險法案ニ付キマシテハ此處デ中止シテ置キマシテ、前ノ職員健康保險法案ニ付キマシテノ御質疑ヲシテ戴キタイト思ヒマス、
○子爵松平保男君 是ハ事務的ノコトデアリマスカラ、政府委員ノ御答辯デ結構デアリマスガ、此ノ十八條ノ範圍デアリマスガ、是ハ先程御話モ出マシタノデアリマスガ、此ノ問題ガ餘程都合好クヤラナイト云フト、折角斯ウ云フ保險ノ制度ガ設ケラレマシテモ、公平ヲ缺クヤウナコトガアルト云フト、却テ此ノ立派ナ社會政策ノ法案ノ上ニ甚ダ都合ノ惡イコトニ却テヤルヤウナ風ニ思フノデアリマス、ソレデ政府ハ此ノ原案ニ致サレマシテモ、茲ニ設ケラレマシタ範圍、即チ五項目ヲ舉ゲラレタノデアリマスガ、先程政府ノ御答辯ニ依リマシテ、大體ノ御方針ハ分ツタノデアリマスガ、尙第六項ニ掲ゲラレテ、是以外ノモノハ又勅令ヲ以テ指定スル、即チ先程御質問モアリマシタヤウニ、今後はダケノモノデハ足りナイカラ、後カラ又出スト云フヤウナ意味ニ於テ第六項ヲ掲ゲラレテ居ルヤウニ伺ヒマシタガ、大體ニ於テ此ノ法案ニハ所謂此ノ五項目ニ

掲ゲラレテ居ルヤウナモノデ、所謂職員ト申シマシテモ、官公吏ノ如キモノハハマア及サナイト云フヤウナ風ニナツテ居リマスガ、例ヘバマア小學教員ノ如キ大事ナ兒童……國民教育ノ大事ナ職務ニアル者ニ對シテハ、外ニ斯ウ云フヤウナコトガナイヤウニ伺ッテ居ルノデアリマス、マダ實ハ此ノ戴キマシタ參考書類モ十分見テ居リマセスカラシテ、或ハ此ノ點私ノ認識不足ノ點モアルカモ知レマセスガ、サウ云フヤウナ薄給ナ、而モ大事ナ職業ニ在リ、サウシテ之ニハ入ラナイト云フ者、具體的ニ言ヒマスレバ、小學校教員ト云フヤウナ者ニ對シテハ將來第六項ノ中ニサウ云フ種類ノ職員ノ人達ヲ入レラレル御考ヲ御持チニナツテ居ルノデゴザイマセウカ、兎ニ角此ノ法案ハ無論完璧ヲ期シテ居ルノモノデハナイト云フコトハ、大臣カラモ此ノ間御話ガアリマシタヤウデ、詰リ漸進主義デ段々進ンデ行クト、斯ウ云フ御方針デアルヤウニ承リマシタノデスガ、是ハ豫算ノ關係上已ムヲ得ナイト思フノデアリマスガ、今ノヤウナ點ニ付テハドウ云フヤウナ御考デアリマスカ、其ノ御見込ヲ伺ヒタイノデス

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ松平子爵ノ御質問ニ對シマシテ私ヨリ一應御答ヘ申

上ゲマス、此ノ職員保險ノ被保險者ノ範圍デゴザイマスガ、仰セノ通り職員ト申シマスル以上ハ茲ニ舉ッテ居リマス商業ノ使用人ノミナラズ、官公署ノ使用人、之ニ付テモ同様ニヤルベキ必要ガアルコトハ政府トシテモ十分認メテ居ルノデアリマス、唯此ノ官公吏ナリ、官公署ノ使用人ニ付キマシテハ、政府ト特殊ノ關係ガアリマシテ、政府ハ國家トシテノ立場以外ニ使用主トシテノ立場ヲ二ツ兼ネテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、健康保險ヲヤツテ行クニ付キマシテモ、一般ノ民間ノ使用人ト餘程違ヒマス、又國庫ノ負擔額ニ付テモ非常ニ違フノデアリマシテ、サウ云フヤウナ色々ナ點カラ見マシテ、職ノ後員健康保險ニハ入レナイデ、別途ニ考究スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ社會保險トシテヤリマスカ、或ハ各官廳ニ現在現業ニヤツテ居リマスヤウナ共濟組合ト云フ制度ニ依ツテヤリマスカ、尙研究スル必要ガアリマシテ、是等ニ付キマシテハ、關係各省トモ十分連絡致シマシテ、速カニ調査ヲ遂ゲマシテ、成ルベク早イ機會ニ於テ成案ヲ得タイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、從ヒマシテ只今仰セノ小學校教員ノ如キモノモ是ハ公吏ノ性質ヲ持ッテ居ルモノデアリマスカラ、矢張り

別途ニ考ヘルト云フコトデ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、其ノ外ニ民間私立ノ學校ノ教員、ソレカラ其ノ他各種ノ職員ニ付キマシテハ、只今仰セノ如ク十八條ノ六ノ前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業ト云フノデ以テ將來勅令デ範圍ヲ擴張シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ次第デアリマシテ、小學校教員ノ如キモ、政府ニ於ケル官公署ノ方ノ使用人デアリマスル學校教員ニ對スル施設ヲ別途考ヘマスト同時ニ、此ノ六ノ私立ノ學校ノ教員ニ付テモ歩調ヲ同ジクシテ考ヘルト云フ方ガ宜イノデアリマシテ、六ノ方ノ私立ノ小學校教員ダケニ對シテ先ニヤルト云フコトハ如何カト云フヤウナ關係ガゴザイマシテ、此ノ際ハ一應省イテ居ル、サウ云フ關係ニナツテ居リマス

○子爵松平保男君 次ニモウ一ツ伺ヒタイノハ、此ノ給付ノコトデアリマスガ、是モ十分自分ノ研究ガ足りナイ點ガアルカモ知レマセスガ、是ハ其ノ療養スル費用ヲ給付サレルト云フヤウニ解釋スルノデアリマスガ、詰リ病氣ヲスレバ無料デ診療ヲサセルト云フ意味ニハナラナイ譯デゴザイマスガ、給付ハ費用ヲヤルト云フコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(進藤誠一君) 此ノ職員保險ニ於キマスル醫療ノ給付ハ醫療費ノ給付ト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、仰セノ通り醫療ノ現物給付即チ治療スルト云フ給付デナクテ、治療ノ費用ヲヤル、斯ウ云フ給付ノ建前ニナツテ居リマス、此ノ點政府ノ意ノアル所ヲ御説明申上ゲタイト存ジマスガ、元來健康保險ニ於キマシテハ醫療ノ給付、即チ病氣ニナッタ者ヲ只デ治シテヤルト云フノガ本旨デアリマシテ、此ノ職員保險ニ於テ特ニ其ノ主義ヲ改メタト云フヤウナ意嚮デハナイノデアリマス、ソレデハ何故斯ウ云フ風ニ醫療費ノ給付トナツテ居ルカト申シマスルト、其ノ點ハ斯ウ云フコトカラデアリマス、現在ノ健康保險デハ病氣ヲスレバ全部只デ治シテヤル、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居リマス、處ガ一面ニ於キマシテ、少シ強イ言葉カモ知レマセスガ、濫診濫療ト申シマスカ、大シタ病氣デモナイノニ醫者ニ掛ル、又掛ッテ藥ヲ服マスデモ宜イノニ、全部只デアアル爲ニイヤニ藥ヲ服ム、是ハ加入者ガ惡イカ、醫者ガ惡イカ、色々ソコ等ノ關係デサウ云フ弊害ナキニシモ非ズデアリマス、ソコデ諸外國ノ制度ニ於キマシテモ一部負擔ノ制度ト申シマシテ、全部只デハ治シテヤラナイ、大體七割トカ

八割トカ云フ部分ハ只デ治シテ、後ハ二三割ノモノハ病氣ニ罹ッタ本人カラ取ル、サウシマスト餘程濫診濫療ガ妨ゲルト云フノデ、非常ニ效果ガ好イノデアリマス、サウ云フ制度ヲ今度ハ少シク探ッテ見タイト云フニアツタノデアリマス、ソレデ色々現物給付ニシテ一部ノ負擔ヲ取ルト云フコトヲ考ヘタノデアリマスガ、是ガ其ノ會計法上ナリ其ノ他費用ノ徴收ノ手數、其ノ他事務的ノ關係カラモ非常ニ困難ナ、殆ト至難ト云ヒマスカ、出來ナイヤウナ狀態會計法上ナドカラ云ヘバ、相當モウ出來ナイカト思ヒマス、ソレデ已ムナク此ノ一部負擔デ癒スト云フ主義ヲ實行致シマス爲ニ、形式的ニ療養費ノ八割ヲ政府ガ支給シ、二割ハ本人ガ出スト斯ウ云フ制度ニ致シタノデアリマス、ケレドモ實際ノ結果ニ付キマシテハ、從來ノ病氣ニナッタ癒スト云フ治療ノ現物給付ト云フコトト變リガナイヤウニ致シタイト云フ考デ、矢張り此ノ制度ニ於キマシテモ、政府ハ醫師會ト契約ヲ致シマシテ指定醫ヲ設ケマシテ、其ノ指定醫ヘ行ケバ直グニ診テクレル、サウシテ其ノ指定醫ガ被保險者ノ代理人トナッテ、政府ニ金ヲ要求スルト云フヤウナコトデ、非常ニ手數モ簡略ニ出來ル、又一部負擔ノ原則ニ依ッテ治療

ヲヤルト云フコトガ、圓滿行キマスヤウニ實際上拂フ積リデアリマス、サウ云フヤウナ事情カラ斯ウ云フ風ナ醫療費ノ給付ト云フコトニナッテ居ル次第ナノデアリマス

○子爵松平保男君 今御話ノ中ニ會計法規

ニ依ッテサウ云フコトノ出來ナイヤウナコトダト云フヤウナ御話ニ伺ヒマシタガ、此ノ療養スル經費ノ點等ガ十分出來デモ、サウスルト云フト其ノ會計法規ノ爲ニ、ソレガ出來ナイト云フコトニナルノデアリマスカ、サウダトスレバ其ノ會計法規デ、ソレガ出來ナイト云フ所ノ要點ダケヲチョット伺ヒタイト思フノデアリマスガ、或ハ非常ニ込入ッテ居ルヤウナムツカシイ事カモ知レマセヌケレドモ……

○政府委員(佐藤基君) 會計法上出來ナイ

ト云フノデヤナクテ、非常ニ複雑ナ手續ニナル、其ノ手續ヲシテ迄ヤラナケレバナラヌカト云フ問題デアリマス、ソレハ現物給付ヲ致シマシテ醫者ガ療養ノ給付ヲシテヤル、其ノ額ニ付テ一部負擔、例ヘバ被保險者ガ二割負擔スルト云フコトニナリマスト云フト、政府ト醫者トノ關係ニ於キマシテハ政府ハ醫者ニ十割ヲヤル、同時ニ政府ハ被保險者カラ二割金ヲ取ラナケレバナラス、其ノ二割ヲ取ル方法ガ實際上ノ問題トシテ、

醫者ニカカッタ被保險者ガ醫者ヘ持ッテ行クト云フノガ、一番便利ナ方法ニナルノデアリマス、恐ラク實行上ノ問題トシテハサウシタイト思フノデアリマスガ、サウナッテ來ルト醫者ハ被保險者カラ二割ノ金ヲ貰フ、サウスルト政府カラハ十割ヲナイデ、残りノ八割ヲヤレバ宜イト云フコトニナル、サウスルト其ノ場合ニ醫者ガ二割ヲ取ルノハ、如何ナル資格デ取ルカ、被保險者ガ政府ニ納入スベキモノヲ醫者ニ納入スル、例ヘバ銀行預金ノ利子ニ付テ所得稅ヲ徴收スルノニハ、銀行ヲ使ッテ居リマスガ、ア、云フ關係ニスルノカ、若シア、云フ關係ニスルトシマス、政府ト被保險者ノ關係ニ於キマシテ政府ガ八割ダケ拂フト云フコトニナルト、一方ニ二割ノ歳入ガアリ、他方ニ十割ノ歳入ガアル、差引政府ハ八割ダケ出セバ宜イト云フノガ實際上ノ問題デアリマ

ス

○子爵松平保男君 其ノ給付ヲスルノ療養

費ヲ給付スルト云フコトニナリマス、病氣ナドノ輕イノト、ソレカラ重イノニ依ッテ費用ノ點モ大分違ッテ來ルダラウト思マヒス、單ニ病氣ガ長ク掛ルトカ、短ク済ムトカ、是ハ無論病氣ガ輕ケレバ早ク癒ルノデスガ、併シ相當是ハ今十分ナ療養ヲシナイト重クナルト云フヤウナ病氣モアルダラウト思フ、サウ云フヤウナ關係カラシマス、云フト、今少シ金ガ掛ルケレドモ、十分療養スルト云フヤウナ場合ニハ、此ノ給付ノ額ガ多クナッテ來ルノデアリマセウカ、其ノ點ハドウナンデスカ、給付ノ額ガ矢張りサウ云フ風ナ病氣ノ種類ニ依ッテ、醫者ノ見込ニ依ッテ多クナル、或ハ少クナル、或ハ一律ニスルノダト云フコトニナルノデスカ

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御質問ノ

點ハ、醫療費ハ全治シタ後デ清算シテ拂フノデアリマスカラ、病氣ガ重ケレバ額ガ大キイ、輕ケレバ少イ、ソレガ矢張り各、多イニシテモ少イニシテモ八割、二割ト斯ウ云フコトニナルノデアリマス、其ノ實際ノヤリ方ト致シマシテハ、醫者ト政府ト契約致シマシテ、水藥、散藥一回分ヲ十錢トカ、手術ハナンボトカ云フヤウニソレノ決メ

テアリマスカラ、ソレニ依ッテ算定ハ容易ク
出來ルヤウニナッテ居リマス

○子爵松平保男君 諄ク伺フヤウデスガ、
サウシマス云フト、其ノ療養ヲシテ貰フ、
詰リ醫術ノ方ニ關シテハ、ソレハ被保險者
ガ任意ニヤッテ宜イ譯デアリマスカ、例ヘバ
今は手術シナイデ其ノ儘置イテモ癒ルカ
モ知レナイガ、手術シタ方ガ宜イ、併シ手
術スルニハ相當金ガ要ル、或ハ又何カ特別
ノ醫療ヲシテ貰フ、金ガ掛ルト云フヤウナ
時ニ、ソレハ自分トシテ十分ナコトヲシヨ
ウト思ッテ金ヲ掛ケル、サウスルト其ノ金ノ
掛ツタ實際ノ費用ニ對シテ、何割カラ給付シ
テ貰ヘルト云フコトニナッテ、病氣ノ療養ヲ
スルコトニ付テハ、ソレハ制限ハ無イ譯デ
アリマスカ

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御質問ノ
點ハ、今迄ノ健康保險ニモ起ル共通ノ問題
デアルト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ細
カイ細則ガアリマシテ、例ヘバ盲腸、病氣
デモナイノニ盲腸ハ切ッテシマッテ置イタ方
ガ宜イシタト云ッテ、醫者ニ切ッテ呉レト云
ッテ、普通ノ場合ハ醫者ニ言ヘバ切ッテ呉レ
マスガ、此ノ健康保險デハ、サウ云フヤウ
ナ要求ニハ應ジナイ、ソレカラドウカ身體
ニ疣ガアル、斯ウ云フヤウナモノヲ手術シ

テ貰フト云フノデスガ、ソレハ病氣トハ認
メナイト云フヤウナモノニ付テハ、被保險
者カラ醫者ニ要求ガアツテモ、ソレハヤラナ
イ、斯ウ云フヤウニ色々定メテアリマシテ、
治療ノ内容ニ付キマシテハ、醫者ノ方ニ政
府ト決メタ診療方針ト云フモノガアリマシ
テ、ソレニ依ッテ決メタルデアリマシテ、患
者ノ希望ニ依ッテ自由ニスル譯ニハ參ラナ
イノデアリマス

○子爵松平保男君 此ノ給付ガ費用ヲ以テ
行ハレルト云フコトニナリマス、茲ニ私チ
ヨット考ヘタノハ、是ガ全部實費デ以テヤラ
レルナラ問題モ起ラナイ、實費ト申シマス
カ、無料診療ト云フコトニナレバ問題ハ起
ラナイノデアリマスガ、今ノヤウナ風ニナ
リマス、茲ニ同ジ例ヘバ病氣ニ於テハサ
ウ云フコトモナイノデスガ、負傷ノヤウナ
場合ニ、實際職務上ノ負傷、謂ハバ公務負
傷ト云ツタヤウナ場合ニ、被保險者ガ自分ノ
職務ヲスル爲ニ負傷シタ、例ヘバ商店ノ
方デ云ヘバ、商店ノ店舗ガ火災ニ罹ル、斯
ウ云フヤウナ場合ニ、自分ガ挺身シテ其ノ
消火ニ努メタ、ソレガ爲ニ負傷シタト云
フヤウナ公務傷ト云ヒマスガ、サウ云フヤ
ウナ場合ニハ、此ノ給付ノ額ヲ餘計ニヤル
ト云フヤウナコトニハナッテ居リマセヌデ

セウカ

○政府委員(進藤誠一君) 此ノ保險ニ於キ
マシテハ、業務上ノ公務ノ傷害トカ、ソレ
カラ普通ノ傷害トカ云フモノヲ區別致シマ
セヌ、勞働者ノ場合ニ於キマシテハ、工場
法トカ其ノ他ノ法規デ、サウ云フ業務上ノ
傷害ニ付テハ事業主ガ無料デ治療シナケレ
バナラヌ義務ヲ負ハサレテ居ルノデアリマ
スガ、職員ニ關シテハサウ云フ法規ハナイ
ノデアリマシテ、公務モ一般ノ傷害モ總テ
同ジヤウニ、保險デ一律ニ見ルコトニナッテ
居リマス

○子爵松平保男君 陸海軍ニ於テハ、負傷
迄デナク公務疾病ト云フヤウナモノニ對シ
テモ、矢張り特典ヲ與ヘテ居ッテ、其ノ怪俄
ノ原因ガ非常ニ犠牲的ノ行爲ニ因ツタモノ
デアルト云フヤウナモノハ、非常ニ重キヲ
置イテ見テヤッテ居ルノデアリマスガ、此ノ
職員ノ場合モ矢張り何トカ考ヘテヤル必要
ガアルノデヤナイカ、職務ヲシテ居ッテ、ソ
レガ爲ニ病氣ニナッタト云フコトモアルノ
デアリマスガ、併シソレハナカ／＼區別ガ
付キ兼ネル場合モアルト思フノデスガ、負
傷ノ場合ニハ是ガハッキリ分ルノデアリマ
スカラ、何トカ斯ウ云フコトモ御考慮ヲ願ッ
タラ結構ダラウト思フ、是ハ私ノ希望トシ

テ申上ゲテ置クダケデアリマス、是デ質問
ヲ打切リマス

○子爵富小路隆直君 今松平子爵ノ御尋ニ
ナツタコトニ對シテ政府カラ御答辯ノアツタ
中ニ、官公吏等ノ健康保險ニ關シテハ別途
ニ考ヘル、或ハ共濟組合等ノ方法ニ依ッテ、
サウ云フ施設ニ依ッテヤルノダト云フヤウ
ナ御話デアリマシタガ、ソレハ何時頃カラ
オヤリニナル御積リデスカ

○政府委員(進藤誠一君) 實ハ官公吏ト、
官廳ノ雇傭人ト云フモノトハチヨット違ッテ
居リマスガ、先ヅ官公吏ノ方カラ申上ゲマ
スト、官公吏ニ付キマシテハ、現在民間ノ
雇傭人トモ官廳ノ雇傭人トモ違ッテ、法律上
デ色々或程度ノ保護ガアルノデアリマス、
例ヘバ是ト違ヒマスガ恩給トカ、只今松平
子爵ガ仰セラレタヤウナ公務ノ負傷トカ疾
病等ニ付テハ、政府ガ醫療ヲ全部負擔スル
ト云フヤウナ規定ガ色々アリマシテ、ソレ等
ノ無イ部分ヲ保險デヤラナケレバナラヌト
云フ關係ニナルノデアリマシテ、民間ノ使
用人トハ、保險ヲヤルニシマシテモ矢張り
多少違フ點ガアル、ソレ等ノ點カラモ矢張
リ別個ニシタ方ガ宜イト云フ理由ガ一ツ、
ソレカラ次ニ雇傭人ノ中デ鐵道トカ遞信、
專賣局、印刷局其ノ他陸海軍アタリノ所謂

現業ニ付キマシテハ、從來モ共済組合ガアツテ、其ノ中デ普通ノ官公吏以上ノ保護ガ現ニアルノデアリマス、其ノ他ノ現業デナイ雇傭人ニ付テハソレガナイデアリマス、ソコデ官廳ニ於キマシテハ、現業ノ如キ業務上ノ關係デ相當特殊ノ性質ガアルノデ、保護ヲ先ニシナケレバナラスト云フモノニ付テハ、既ニヤツテ居ルノデアリマス、其ノ他ノモノニ付テモ同様ニ、程度ノ差ハアリマシガ保護ヲスル必要ノアルコトハ認メテ居リマスガ、先ヅ順序ト致シマシテハ、私共ノ考トシテハ、茲ニ舉ゲマシタヤウナ民間ノ商業的使用人デ何等ノ保護ノナイ者、丁度役所ニスレバ現業ト同ジヤウナ性質ノ者ニ付キマシテ先ヅヤルノガ必要デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ官吏ノ中ノ下級ノ者及ビ現業以外ノ雇傭人ニ付キマシテモ、是亦捨テ、置ク譯ニ參リマセヌノデ、是カラ、成ルベク速カニ調査ヲ致シマシテ、共済組合ニ依リマスカ、又政府ノ保險ニ依リマスカヲ決メマシテ、時期ハ申上ゲラレマセヌガ、成ルベク早く此ノ保險ト歩調ヲ失シナイヤウニ致シタイト云フ考デ進シデ居リマス

ハ中等學校アタリノ教員ハ……私立學校ノ方ハ第十八條ノ六ニ入レルガ、併シ官立ト申シマスカ、官公立ト申シマスカ、サウ云フ方面トノ權衡上、今遽カニソレヲヤル譯ニハ行カスト云フ御話デアリマシタガ、是ハ相當重大ナ問題ダラウト思フノデアリマス、大體小學校教員ナント云フモノハ非常ニ氣ノ毒ナ立場ニ在リマシテ、色々考ヘテ居ツテモ職掌柄ナカク、口ニ出シテ懇ヘルコトノ出來ナイ非常ニ弱イモノデアリマス、斯ウ云フ人ヲ率先シテ助ケテヤラナケレバナラスト思フノデスガ、サウ云フ點カラ、何トカサウ云フ途ヲ開ク爲ニモ、矢張り官公吏等ノ方面モ早くヤツテ戴カナイト困ルダラウト思フノデス、最モサウ云フ風ナ必要ガアルノデヤナイカト私ハ考ヘルノデスガ、ドウ云フヤウニ御考ニナツテオイデナリマスカ

○國務大臣(廣瀬久忠君) 大體保險院長官カラモ申上ゲタ譯デアリマスガ、現ニ官公廳ノ職員ト申シマスカ、ソレニ付キマシテハ色々ナ共済組合ナドガアリマシテ、勅令ノ保護ニ依ツテ出來テ居ルモノモ随分アリマス、警察ノ共済組合ノ如キモノサウデアリマスシ、其ノ他ニモ逓信省、鐵道省等ニアリマス、其ノ他今ノ保險ナドデハ、矢張り學校ノ教

職員ノ互助會ト云フヤウナモノ、是ハ勅令ニ依ラナイデ任意的ニ出來テ居ルモノモ随分アリマス、町村吏員ナドノ間ニモ現ニアリマス、ソコデ、今回此ノ職員保險制度ヲ作ルニ付キマシテハ、矢張り其ノ方面ニ付テモ色々研究ヲ致シマシタ、致シマシタガ、現ニ最モ必要デアルト思フ部分ニ付キマシテハ、官公廳ノ職員ニ付テ現ニ或程度ノ制度ガアリマス、ソコデ尙研究ヲシマスノハ、官公廳ノ職員ノ性質上カラ色々考ヘナケレバナラスト云フヤウナ點デ、尙一段ナケレバナラスト云フヤウナ點デ、尙一段ト研究ヲシナケレバナナリマセヌ、此ノ保險ガ通りマスト、無論其ノ方面ニ付テ御説ノヤウニ急イデ結束ヲ付ケマシテ、ドウ云フ形式ニ依ルカハ尙研究ヲ要シマルスガ、出來ルダケ早く必要ナ部分ニ對シテ施設ヲ致シマセヌト公平ヲ失スル憂ガアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ十分ニ一ツ急イデ成案ヲ得タイト斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス

○小原直君 今ノ問題ニ關聯シテ念ノ爲ニ御尋ネシタイノデアリマスガ、法案ニハ既ニ十六條ニ依ツテ只今御説明ノ如ク國、北海道、各府縣、市町村及之ニ準ズベキモノノ事業ニ使用セラル、モノハ本法ヲ適用シナイト云フコトニナツテ居リマシテ、御説明ニ依ツテ此ノ點モ至急ニ考慮シテ適當ナ案ヲ立テルノデアルト云フ御説明デアリマシタガ、衆議院ノ本法案特別委員會ニ於ケル問答ヲ見マスルト、政府ニ於カレテハ、最初矢張り十六條ニ規定スルモノヲモ、本法案ノ適用ヲ受ケルヤウニ御考ニナツタコトガアルノヲ、何カノ御都合デ見合セテ、十六條デ除外スルト云フコトニナツタヤウニ、質問者ガ質問ヲシ、ソレニ對シテ御答辯ガアツタヤウニ承知シテ居リマスガ、何カソナコトデモアツタノデアリマセウカ

○政府委員(進藤誠一君) 國、ソレカラ道府縣市町村ニ使用サレル者ニ付キマシハ、厚生省ノ案ト致シマシテハ、最初カラ十六條ノ如ク別ニヤルト、斯ウ云フコトデアリマシテ、此ノ職員保險ニ含メテ居ッタヤウナ案ハナカッタノデアリマス、或ハ只今ノ御耳ニ入ツテ居ルノハ、其ノ以前ノマダ案ニナラヌ前ノ、内務省時代ノ或ハ局ノ意見ト云フヤウナモノデヤナイカト思ヒマス

○小原直君 參考書ニ依リマスト、本法ノ適用ヲ受ケル豫定被保險者數ハ、大體三八萬人内外ト云フコトニナツテ居リマスルガ、之ヲ執行シタ時ノ費用竝ニ豫算等ハドウ云フ風ニ豫定セラレテ居リマスルカ、其ノコトヲ一ツ承リタイ

○政府委員(佐藤基君) 豫算ト致シマシテ

ハ、明年度十四年度ハ此ノ法ヲ施行スル爲
ノ準備デアリマシテ、此ノ法律ノ附則ニア
リマス通り、一部分ノ規定ヲ施行致シマシ
テ、保險制度ガ全般的ニ動クノハ十五年度
カラデゴザイマス、十五年度カラノ費用ト
致シマシテハ、政府トシテ大體五十萬圓餘
リ負擔スル積リデ居リマス

○小原直君 十五年度カラ施行セラレタ後
ノ豫算ガ五十餘萬圓ト云フコトニナリマス
ルト、大體被保險者一人ニ對スル給付ノ額
ノ豫定ハドレ位ニナリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 給付ノ額ニナリマ
スト云フト、其ノ豫算ハ所謂實質上ハ政府
ノ負擔外デアリマシテ、此ノ保險ノヤリ方
ハ、所謂給付ニ要スル純保險料ト申シマス
ルカ、其ノ部分ハ事業主ト被保險者デ負擔
ヲスル、政府ハ其ノ保險ノ運営スルニ必要
ナル事務費ヲ負擔スルト云フ建前ニナッテ
居リマス、給付費ト致シマシテハ、一人當
十圓餘リニナルデアリマセウ

○小原直君 参考書ニ依リマス、現行ノ
健康保險法施行ノ結果、一人當ノ被保險者
ニ對スル保險金ノ給付、保險ノ給付ハ金額
ニ見テ大體十三圓餘ト云フコトニナッテ居
リマスルガ、ソレト比較シテ、今ノ御話ダ

ト幾ラカ少クナッテ居リマスルガ……

○政府委員(佐藤基君) 少クナッテ居リマ
ス其ノ主ナ原因ハ、傷病手当金ノ制度ガ違
フノデゴザイマス、現在ノ労働者ノ健康保
險ニ於キマシテハ、病氣ニナッテ療養ノ爲ニ
勞務ニ服スルコトガ出來ナイト云フ場合ニ
於キマシテハ、一定ノ待期三日經チマシテ、
職務上ノ問題ハ別デアリマスガ、普通ノ場
合ニ於テ三日經ツテ、四日目カラ標準報酬日
額ノ六割ヲヤルト云フコトニナッテ居リマ
ス、處ガ此ノ保險ニ於キマシテハ、月給者
ニ付キマシテハ四月目カラ從來ノ報酬ノ五
割ヲヤル、日給者ニ付キマシテハ十一日目
カラ矢張り從來ノ報酬ノ五割ヲヤル、サウ
云フコトニナリマシテ、ソレトモウツ一
部負擔ノ制度ガアルノデ、療養ノ所謂濫診
濫療ト申シマスカ其ノ點ガ大分變テ來マ
スガ、ソコデ保險ノ給付ノ額ガ減ルト云フ
コトニナル譯デアリマス

○小原直君 健康保險ニ依ル給付ニ依ッテ、
工場労働者或ハ鑛山労働者等ガ非常ニ恩惠
ヲ受ケテ居ルコトハ勿論デアリマスガ、私
共醫師ノ社會ノ人達ニ會ヒマス云フト、
其ノ人達ノ中ニハ、健康保險ノ保險給付金
ガ少額デアアルガ爲ニ、實際醫者ガ考ヘテ居
ル所ノ治療ヲ行フコトガ出來ナイ例ガ相當

ニアルト、大分苦情ヲ聽クノデアリマス、
成ル程聽イテ見ルト、モウ少シ有效ナ藥ヲ
使ツタラ尙良イノデハナイカト云フヤウニ
思フ節モナイデハナイト思フノデアリマス、
今日ノ健康保險ノ給付金ガ不足デアルト云
フノニ、更ニソレヨリモ、多少制度ガ違ヒ
マスケレドモ、金額ガ一人當ガ少イト云フ
コトデハ折角ノ職員健康保險法ノ效果ヲ舉
ゲル上ニ於テ、若干遺憾ノ點ガアルト云フ
ヤウナコトハナイデアリマセウカ、其ノ點
ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) 現在ノ健康保險
ニ於キマシテ、醫療費ガ醫者ノ方カラ見テ
少イト云フヤウナ苦情ノ多少アリマスコト
ハ、私共耳ニ致シテ居リマスガ、併シ色々
調べテ見マスルガ、何シロ三萬以上ノ保險醫
ガ居リマス、個々ノ人ニ付テハ、或ハサウ
云フヤウナ不同ガ出來テ居ナイトハ申上ゲ
兼ねマスガ、全體ヲ經費ト致シマシテハ、
私共トシテハ醫師會ニ拂ッテ居ル金ハ不足
ダトハ考ヘテ居リマセウ、ソレデ現在ノ金
ノ範圍内デ十分ヤッテ行カレルコトと思フノ
デアリマス、從ヒマシテ今度職員健康保險
ノ醫療費ガ、現在ノ健康保險ヨリモ幾ラカ
低クナッテ居リマスガ、是ハ先程他ノ政府委
員カラ申シマシヤウナ一部負擔ガアリマ

シテ、濫診濫療ニナル危險ガアリマセウシ、
モウ一ツ罹病率ガ少イシ、工場労働者ト重
イ困難ナ病氣ナドガ比較的少イノデハナイ
カト云フ状態ニモナリハセウカト云フノデ、
是ダケデ以テ十分ヤッテ行ケルダラウト云
フヤウナ考ヲ持ッテ居リマス

○小原直君 私ハ能ク斯ウ云フ方面ノ知識
ガナイ爲ニ分リマセウガ、健康保險法ト今
度出マシタ職員健康保險法案トノ條文ヲ彼
此對照シテ見マスルト、大體ニ於テ被保險
者ノ範圍ハ違フコトハ勿論デアリマスガ、
保險給付等ノ所謂保險其ノモノノ本質カラ
見ルト、非常ニ似通ツタ點ガ澤山アルヤウニ
思フ、是ハ他ノ例ヘバ衆議院ニ於ケル御説
明等ニ依ッテ大體分ッテ居リマスケレドモ、
此處デ尙一應御説明ヲ承ッテ置キタイノハ、
健康保險法ガ既ニアルナラバ、職員健康保
險法ト云フモノモ其ノ中ニ包含サレテモ、
動キガ取レルデヤナイカト思フノデアリマ
スガ、是ハ昨日以來ノ御説明ニ依ッテ、多少
違フ所モアリ、聽テハ之ヲ總テノ保險ヲ統
合シテ一ツノ法律ニスベキ機會モアラウケ
レドモ、今日ノ程度ニ於テハ箇々ニ各種ノ
保險法ニ定メテ、ソレト適用ヲ有效ナラ
シメルコトガ宜シイト云フヤウナ御説明モ
アルヤウニ承知シテ居リマスルガ、其ノ點

ハドウ云フ風ニナルデアリマセウカ

○政府委員(進藤誠一君) 本案ノ内容ト現在ノ健康保險ノ内容ガ、大體ニ於テ似通ツテ居ルト云フコトハ只今御話ノ通りデアリマシテ、政府ト致シマシテ之ヲ別箇ノ法律ニ致シマシタノハ、將來此ノ職員ト云フモノノ範圍ヲ段々段々マダ廣クスル積リデアリマシテ、一ツハ矢張り労働者トハ違フ社會階級ト云フ對象ガ目標デアアルノデアリマシテ、之ニ對シテ多少矢張り違ツタ制度ヲ以テ臨ム方宜イト云フ考カラ致シタノデアリマス、ソレデ法律ノ體系ト致シマシテ、「ドイッ」ヤ英國其ノ他モ健康保險法ハ總テ一ツノ法典ニナツテ居リマス、從ヒマシテ將來ハ之ヲ統合シマシテ一ツノ健康保險法トシテ、其ノ中ニ篇ヲ分ケテ、労働者健康保險法、職員健康保險法、船員健康保險法ト云フ風ニスルト云フコトハ、將來ハ起ルコトト思ヒマスガ、只今ノ程度デ一ツノ法律ニシマシテモ、矢張り片輪ノ法律ガ出ルノデアリマシテ、マダ實行シテ居ナイ區域デ、マダマダ他ニ豫想サレルモノガアル、ソレ等ヲ段段ヤツテ行ツタ上デ、最後ニ統合スル方適當デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ別箇ニ致シタノデアリマス、尙モウ一ツノ理由ハ、法律トシテ統合致シマシテモ其ノ組織ナリ會計ハ、罹病率ガ

違ヒ保險料ナリ其ノ他金ノ點ニ於テ相當違ヒマスカラ、之ヲ一ツノ會計ノ一ツノ制度ニハ出來ナイ、サウ致シマスルト法律ダケハ一緒ニシテモ、會計ハ違フ、組織ハ違フト云フコトニナリマスルカラ、矢張り統合シタ意味モ薄イカト思ヒマス、矢張り是ハ別箇ニシタ方宜カラウ、斯様ニ思ッテ居リマス

○濱口儀兵衛君 社會保險ガ追々整ッテ來マシタコトハ誠ニ喜バシイコトト考ヘマサガ、今度御提案ニナツタ職員健康保險ハ、最モ缺ケテ居ツタモノノ一ツデアアルノデ、之ヲ御出シニナルコトハ至極結構ダト思フノデアリマスガ、唯大臣ガ衆議院デ色々御話ニナツテ居ル場合ニ、此ノ社會立法ノヤウナモノハ、漸進主義デヤツテ行ク方宜イノダト云フ風ナ御話ガ度々出テ居ルヤウデスガ、併シ私共ハ考ヘルノハ此ノ療養費ノ程度ダトカ、サウ云フ風ナモノニ付テハ漸進主義ガ宜イノデヤナイカト思ヒマスガ、今ノ社會ノ情勢カラ見デミルト、斯ウ云フ風ナモノハ相當程度ニモット進ンデヤツテ宜イノデヤナイカト思フノデス、殊ニ十八條ニアル被保險者ノ範圍ナドガ、チヨット見ルバカリデモ相當範圍ガ狭イヤウナモノデアッテ、餘程是ハモット擴ゲテ宜イモノデヤナイカト思

フノデスガ、併シソレガ狭マッテ居ルノハ、漸進主義ト云フ御話モアルガ、大臣ハ斯ウ云フヤウナ方面ニ付テ十分ニ御理解ニナツテ、平時色々御配慮ニナツテ居ルト思フノデ、是ハ矢張り豫算ノ關係デコンナ風ニ縮マッテ來ンデヤナイカト、ソナ風ニ思フノデス、其ノ點ハ私共カラ見ルト甚ダ遺憾ニ思フノデゴザイマスガ、併シ先ヅ政府ノ方デモ、左程必要ナイト見ル譯デモアリマスマイケレドモ、他ノ國費ガ大變多イ場合デアアルカラ、斯ウ云フ風ナモノハモットシツカリヤレバ宜イケレドモ、モウ少シ我慢シロト云フヤウナ形デ、漸進主義デヤツテ居ルト云フヤウナコトヲ又考ヘマスト、財政ノ方カラ見ズニ世間ノ模様カラ見直シテ行クト、今ノ此ノ世間ノ模様ハ矢張り凸凹景氣デ、好イ人ハ非常ニ景氣ガ好クテ、何トカシテ收入ヲ強制貯金ニデモサセタ方宜イデヤナイカト云フ有様デスケレドモ、一面又平和産業ノ方カラ見ルト、低物價政策ヲヤルト云フノデ、此ノヤリ方ニ付テハ相當無理ガアル、併シ是ハ今ノ時節柄或程度迄ハ已ムヲ得ナイト云フヤウナ風ノ形モアルガ、相當無理ナコトヲヤツテ居ル爲ニ、一面カラ見ルト、中小工業トカ平和産業ニ關係ノアル人ハ相當惱ンデ居ルノガ此ノ現状

デゴザイマスノデ、サウ云フ風ニ漸進主義デ行クト云フヤウナ風ノ考デアラズ、サウ急イデ此ノ法案ヲ持ッテ來ズトモ、來年ガ宜イカ再來年ガ宜イカ知レマセヌガ、此ノ法案ヲ見テモ、今申上ゲル通り非常ニ不完全ト申上ゲテハ甚ダ恐縮デスガ、イッソナルナラバ、モットシツカリヤツテ見タイヤウニ思フノデスガ、此ノ適用サレナイノハ、十人以下ノ使用人ヲ使ッテ居ルモノニ適用サレナイト云フコトハアルノデスガ、實際相當人數ヲ使ハレテ居ル方ノ俸給者ト云フモノハ、使ッテ居ル人モ社會上ノ地位ガアルカラ、相當待遇シテ居ルト云フ迄ニハ行カナイカモ知レマセヌケレドモ……、一番氣ノ毒ナノハ、寧ロ五人位ノ小サナ所ニ使ハレテ居ル人ハ、給料モ非常ニ低イシ、ソレカラ又ヤツテ居ル人達ノ利益モ非常ニ少イノダカラ、サウ云フヤウナ所ニ使ハレテ居ル者ハ相當ニ氣ノ毒ノヤウナ立場ニ居ルノデ、サウ云フ風ナコトデスカラ、此ノ立法ヲスル時デアレバ、モウ一ツ進ンデ本當ニ社會カラ惠マレテ居ラナイヤウナ人ヲ救フト云ッテハ語弊ガアルケレドモ、サウ云フ風ナ人ヲ救フヤウナ風ナモノヲ主ニシタ方ガ宜イノデヤナイカト思フ、今非常ニ斯ウ世間ノ一部ノ者ガ惱ンデ居ル折柄ニ、斯ウ云

フ風ナ特別ノ費用ヲ拂フト云フコトガ、給金ヲ貰ッテ居ル者カラ見テモ、或程度ノ惱ミガアルノデヤナイカト思フノデス、小サナ人達デスカラ……、殊ニ事業主ニナッテ見ルト相當惱ミダト思フノデ、此ノ點カラ見ルト、此ノ漸進主義デヤナシニ、社會ノ情勢カラ見テ餘程奮發シテ豫算デモ取ッテヤルト云フヤウナ御方針ガアルノナラ、ソレデモ結構ダト思ヒマスガ、サウデナイナラバ、モウ少シ一年位延シテデモモット斯ウ一般ノ國民ノ生活ガ安定ヲスル時期ヲ待ッテカラデモヤッタ方ガ宜イノデヤナイカト思フノデスガ、ソレニ對スル大臣ノ御意見ハ如何デゴザイマスカ

○國務大臣(廣瀨久忠君) 此ノ法律ニ付キマシテハ決シテマダ完全ナモノデハナイノデアリマス、ソレデ御承知ノヤウニ之ヲ全體カラ少シ見テ戴キタイ點ガアルノデアリマス、例ヘバ工場鑛山ノ勞働者ニ付テハ既ニ健康保險ガアッテ、十數年行ハレテ居ル、昨年出シマシタ國民健康保險、是ハ全國ニ對シテ居ル譯デアリマス、併シナガラ是ハ主トシテ農村ニ對シテ行ハレルト云フコトヲ主タル建前ニシテ、尙都會地ニ於キマシテモ中小商工業者自體、詰リ獨立企業者ガ中心ニナッテ、此ノ保險ヲ行フコトニナッテ居

ル譯デアリマス、ソコデサウ云フ工合ニ見マス、工場鑛山ノ勞働者、ソレカラ農山漁村ノ居住者竝ニ中小商工業者ト云フモノニ對シテハ國家ノ保險制度ガアル譯デアリマスガ、唯都會地ニ於ケル商業使用人ナドニ對スル制度ガ無イ譯デアリマス、ソコデ其ノ點ガマア大キク落チテ居ル形デアリマス、勿論之ヲ對象トシテ今回作リマシタ職業保險ヲヤリマシテモマダ足ラヌ所ハアリマス、官公署ニ職ヲ奉ジテ居ル者ナドニ付テハマダ足ラヌ所ガアルト云フコトヲ同時ニ考ヘナケレバナリマセヌガ、併シ兎ニ角大キク落チテ居ッタノガ、矢張り此ノ都會ニ於ケル商業使用人ヲ考ヘナケレバナラヌト云フ立場ニナッテ居リマス、ソコデ矢張り之ニ對シテハ私共ノ考デハ出來ルダケ早く保險制度ヲ布イテ行クト云フコトガ必要デハナイカ、サウシテ社會保險ノ制度ハ矢張り相當民間ニ習熟サセル必要ガアルト思フノデアリマス、健康保險ノ場合ニ於テモ、アレハ矢張り施行ニ付テ一時チヨット法ヲ出シテ暫ク待ツ、ソレカラ施行シタ、アノ場合、健康保險ノ場合ニデモ、初ハ適用範圍ハ現在ヨリモ遙カニ狹カッタ、段々ニ之ヲ擴大テ來タト云フヤウナ譯デアリマス、矢張り此ノ保險ニ於キマシテ御説ノヤウニ十人

ト云フヨリモ十人未滿モ必要デヤナイカ、商業使用人十人以下モ對象ニシナケレバナライデヤナイカト云フコトハ誠ニ御尤ニ存ジマスガ、是等ニ對シテハ矢張り段々習熟サセテ、擴ゲテ行クト云フコトヲ考ヘルト同時ニ、他面ニハ任意加入ノ制度ト云フヤウナモノガ此ノ法律ニモ設ケラレテ居リマス、任意ニ其ノ種ノモノハ事業主竝ニ其ノ使用人ノ任意ノ意思ニ依ッテ入ルト云フ制度モ設ケテ、此ノ中ニ入レルヤウナコトニナッテ居ル、ソコデサウ云フヤウナ譯デアリマシテ、十人未滿ノモノデモ任意ニ入レル、ソレカラ將來ハ段々ニ之ヲ擴ゲテ行ク、尙勅令ヲ以テ指定スル範圍ノ事業モ段々ニ擴ガツテ行クト云フ方法ヲ採ッテ參リマスレバ、現在最モ缺ケテ居リマスル都會地ニ於ケル給料生活者、商業使用人ニ對スル制度ガ確立スル譯デアリマスカラ、是ハ矢張り出來ルダケ早イ方ガ宜イト、斯ウ思ヒマシテ、提案ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯矢張り一度ニ全部ニハ參リマセヌ、從ッテ其ノ點ニ付テハ漸進的ナ立場ニアル譯デアリマス、ソコデモウ一ツ、御言葉ノ中ニアリマシタ此ノ事業主ニ依リマシテハ、平和産業等デ相當經濟的ニ困難ナ者モアリハセヌカト云フヤウナコトニ付テハ私共心配ヲ

致シマシタ、唯此ノ保險料ハ割合ニ低イノデアリマス、從ッテ事業主ノ負擔ガ非常ニムツカシイト云フヤウナモノデハナイヤウニ思ヒマス、是ガマア十人以上ノモノナラ強制的ニ致シマシテモ、先ヅサウ差障リハナイノデヤナイカ、併シ十人未滿ノ者ヲ使用スルモノニ付キマシテハ、是ハ任意的ニ此ノ際ハ考ヘテ行ツタラドウカト云フヤウナ建前ヲ執ッテ居ル譯デアリマス、先ヅ矢張り現在世間ノ社會保險制度カラ、最モ缺ケテ居ル所ニ一ツノ制度ヲ入レタ、併シソレハマダ完全デハアリマセヌガ、矢張り漸進的ナ立場デ之ヲ完全ナモノニサセテ行クト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○濱口儀兵衛君 御説明デ骨子モ能ク分リマシテゴザイマスガ、唯私共特ニ考ヘルノハ、折角ノ是ダケノコトヲ、立派ナ法案ヲ御出シニナルナラバ、モット一ツ政府ノ方デ力ヲ入レテヤッテ貰ヒタイト思フノデス、ソレヲヤリナイ位ナラバ、今申上ゲタ通り、相當ニ世間デ惱ンデ居ル者ガアルノダカラ、事業主ニ惱ンデ居ル者ガアルノダカラ、モウ少シ待ッテモ宜イノデヤナイカト思フノデスガ、ソレハ併シ自分ノ考ダケ申上ゲタノデス、尙ソレニ續イテ具體的ノ事ニ付テモウ一ツ御伺ヒシタイノデス、今度ノ、直ダ來年カ

ラ御實行ニナルヤウデヤナイデスガ、アノ家族ノ療養費ノコトニ付テモウツ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、是ハ職員ト矢張り同様ニ療養費ノ八割ヲ支給スル、職員ト同ジヤウニヤル、斯ウ解釋シテ居ルノデスガ、若シモソレデアッタラ、家族ノ療養費ト云フモノハ少シ濫費スルヤウニナル懸念ガアルノデハナイカト思フノデス、職員デアレバ、毎日會社ナリ、商店ノ方ニ出勤スルノダカラ、多少自分ガ風邪ヲ引イテ少シ悪クッテモマア大抵ノコトナラ押シテ出テ行クヤウナコトニナツテ、サウ長引カズニ居ルガ、家族ニナルト、サウデハナイ、マア大體家ニ居ル人ダカラ、相當用心ヲシテ長ク醫者ニ掛ツテ居ルト云フヤウナコトヲスルト、ナカナカ是ハ分リニクイノデ、普通ノ職員、本人ヨリハ之ノ方ハ割合同ジ病氣ニ對シテモ日數ガ長クナルトカ、何トカ云フ懸念ガアルノデヤナイカト思フノデスガ、之ニ對シテハ八割ト云フコトヲ、モウ少シ本人ノ負擔ヲ多クシテ、サウシテ本人ニ自制サスト云フヤウナコトヲ御考ニナツテ行ツタラドウカト思フノデス、ソレハ八割デモ宜イトモ言ヘルシ、七割デナクテハナラヌト云フコトモ言ヘルシ、六割トモ言ヘルガ、家族ノコトダカラ、殊ニ今度新シク出來ル法案

ダカラ、サッキ大臣ガ御話ニナツタ通り漸進主義カラ考ヘルト、初ノ内ハモウ少シ本人ノ負擔ヲ多クシタ方ガ弊害ガ少イノデナイカト云フヤウナ氣ガスルノデスガ、ソレニ付テノ御考如何デゴザイマセウカ、ソレカラモウ一ツ序ニ伺ッテ置キタイノデスガ、斯ウ云フヤウナ風ニ家族ノ療養費ヲ事業主ガ負擔スルト云フコトニナツテ來ルト、誠ニ小サイ子供ガアル人ダトカ、或ハ年寄ナドヲ持ツテ居ル人ガ多イノデヤナイカト思フノデスガ、達者ナ者ハ働イテ居ル譯デアリマスガ、ソシテ風ノ家族デ殊ニ子供ナドガ多イ人ハ相當病氣ガ多イノデヤナイカト思フノデス、從ツテ家族ノ療養費ヲ持ツト云フコトニナルト、相當事業主ノ負擔ガ重クナルノデヤナイカト思ッテ居ルノデスガ、併シ私共實際ノ經驗カラ見テモ、ドウシテモ本人ダケヲ補助シテアゲルノデヤイケナイ、ドウシテモ家族ヲ補助スルノガ宜イト思フノデスガ、併シドウシデモ家族ニ或程度ノ矢張り自制ノ考ヲ持ツテヤッタラ宜イト思フノデ、マア普通デアルト、賣藥位デ十分濟マシテ居ッタ者ガ、只デヤナイケレドモ、只ニ近イモノニナルト云フコトニナツタラ、相當多ク家族ガ救療ヲ受ケニ行ク實情ニナルノデヤナイカト思フノデス、サウスルト

又一面カラ見ルト、此ノ人ヲ使フ場合ニ、ドウモ餘リ家族ガ多イカラ、アレハ使フ譯ニイカナイト云ツテ、ソレヲ避ケテ來ルト云フ風ナ懸念モナイデハナイカト思フノデスガ、此ノ家族ノ療養ト云フコトニ付テハ事業主ニ餘リ多ク負擔サスト云フコトモ、今ノヤウナ風ニ失業者ヲ却テ増スヤウナ懸念ガナイデモナイト思フノデ、何カ之ニ付テ國ノ方デ家族ノ療養ニ付テハモット補助ヲスルトカ何トカ、ドウヤッタ良イ方法ガアルノカ、ソレハ知ラヌノデスガ、何トカ御考ハアリマセヌデセウカ、サウデナイト家族ノ多イ人ハドウモ使ヒニククナツテ來ルト云フヤウナ懸念ハナイカトモ思フノデスガ、如何デスカ

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御質問誠ニ御尤デアリマス、ソレデ政府ノ腹案ニ於キマシテハ、世帯員ニ付テハ五割、約半分ヲ補助シテヤル、斯ウ云フ考デゴザイマス、尤モ是ハ勅令ノ定ムル所ニ依リト云フノデ今後ノ狀態ニ依リマシテ決メルコトニナル譯デアリマスガ、只今ノ所半分ヲ補助スルコトニナツテ居リマス、ソレデ家族ニ對スル給付ニ付キマシテハ、サッキ御話ノヤウニ、子供ノ多イ者ナドハ相當大ギナ額ニナルト思ヒマス、ソレカラ尙之ニ對シテ傭主ノ負擔ト云フコトモ考ヘラレマスルノデ、此ノ案ヲ作りマスニ付キマシテ、民間ノ方其ノ他色々ナ方ヲ御願ヒシマシテ、保險制度調査會ヲ作ッテ審議シタノデアリマス、其處ニ於テモ此ノ點ハ非常ニ問題ニナツタノデアリマス、ソコデ家族ニ付キマシテハ本當ヲ言ヘバ保險料ノ割増ヲ取ツテ、家族ノ多イ者ニ付テハ幾ラカ多ク割増スト云フノガ至當デアル、本人ダケノ保險料デ、獨リ者ハ自分ダケガ給付ヲ受ケルトカ、家族ノ大勢居ル者ハ同ジ保險料デ澤山ノ給付ヲ受ケル、斯ウ云フコトハ不公平デヤナイカト云フ議論ガ非常ニ出タノデアリマスガ、最後ニ此ノ點ニ付キマシテハ、今ノヤウニ家族ニ付テハ五割、半分ノ補助ニ止メルト云フコトト、今一ツハ子供ノ多イ者ハ結局年ノ行ツタ者デアッテ給料ガ高イ、此ノ保險料ハ給料ヲ基ニシテ給料ノ何割ト云フコトニナツテ居リマスカラ、結局子供ノ多イ者ハ矢張り保險料ヲ比較的餘計出シテ居ル、ソレカラ獨身者ハ矢張り給料モ少イカラ保險料モ少イノデ、マア此ノ程度デ、餘リ細カイコトハ煩ニナツテ事務ニモ困難デアルト云フコトデ、保險料ハ一率ニスルト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、家族給付ニ付テハ半額ト云フ、斯様ナ調査會ノ案デアリマス

○濱口儀兵衛君 其ノ御趣旨ガ能ク分リマセヌデシタガ、此ノ家族ノ療養費ハ、普通ハ割デナシニ五割ト云フコトニナッテ居ルノデスカ、ソレカラ本人ノ保険料ダケデ矢張り家族ガ二人デアラウト五人デアラウト同ジ御考ナノデアリマスカ、家族ノ人数ニ依ッテ假ニ家族ハ家族トシテ保険料ヲ拂フト云フコトデナシニヤル積リナノデセウカ、ソレヲヤッタラ随分ヒドクナッテ來ルヤウナ感ジガシマスカ、家族一人ニ對シテ一人ヅ、取ルト云フコトニシタラ都合ガ惡イノデゴザイマセウカ

○政府委員(進藤誠一君) 第一ノ御質問ハ家族ハ五割、醫療費ハ五割ヤルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ家族ニ對スル保險料ハ割増ヲ取ラナイノデ、本人分ダケデ家族ニモヤラウト斯ウ云フノデアリマス、原案ガ斯ウナリマシタノハ、調査會デモ色々ノ意見ガ出タ結果サウナッタノデアリマス、今一ツ調査會デ考慮シマシタノハ此ノ家族ト云フ範圍デスカ、之ヲ廣ク解釋シマスト、本人ト同ジ世帯ニ居ル者ハ、兄弟デモ從兄弟デモ、何デモ皆受ケルト云フ風ニナッテモ困リマスカラシテ、範圍ヲ縮小シマシテ、一面ニハ本人ノ給料デ専ラ生計ヲ受ケテ居ル家族、斯ウ云フコトニナリマシタ、從ヒ

マシテ例ヘバ小サナ娘ガ「デパート」ノ女事務員ニナッテ居ル、其ノ女事務員ノ娘ガ加入者デアアル爲ニ、ソレノ親トカ、兄トカ云フヤウナモノガ家族トシテ給付ヲ受ケル、斯ウ云フコトハ適當デナイノデ、ソシナコトノ起ラナイヤウニ制限シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○濱口儀兵衛君 今ノ御説明ノ中ニ、子供ノ多イ者ハ年ヲ取ッテ居ル、相當收入ガ多イト云フヤウナ御話デスカ、實情ハ何カ御調ニナッテノコトカモ知レマセスカ、實際言フト、若イ人ガ結婚スルト、盛シニ子供ガ出來ルノデ、ナカ／＼給料ノ上ッテ行クノト子供ノ増シテ行クノト、ドウシテモ釣合ガ取レテ行カヌ位ニ子供ガ増シテ行クト思フノデ、ドウモ本人ダケノ保險料デ、家族全體ノ療養費ノ給付トシテ、ソレヲ事業主ガ負擔シテ行クト云フコトニナッテ來ルト、相當重イヤウニ考ヘルノデスカ、是ハ併シ其ノ家族ノ人数ヲ多少制限スルトカ何トカサウ云フコトノ御考ハナイデセウカ、マア謂ハバ家族ガ三人迄ハ宜イトカサウ云フヤウナ點ノ制限デモ付ケルト云フコトニシタラ、極端ノモノハナクナルノデ、一人ノ者デウツカリシタナラ十人モ家族ヲ持ッテ居ル者ガアッテサウ云フ風ナ人ハ餘程ノ能力デモア

レバ別デスカ、サウ云フ者ハ雇ハヌヤウニ思フノデスカ其ノ邊ノ御考ハ如何デスカ

○委員長(男爵大森佳一君) 速記ヲ止メテ(速記中止)

○委員長(男爵大森佳一君) 速記ヲ始メテ

○子爵富小路隆直君 私、今濱口サンノ家族ノ多イ少イト云フコトニ付テノ御話ハ、私ハ反對ニ考ヘテ居ル、家族ヤ子供ノ多イト云フモノガ實際困ルノデスカ、何時カモ申シタコトガアルノデスカ、貧乏人ノ子澤山ト言ヒマスカ、實際子供ガ多イカラ貧乏ニナルノデ、サウ云フ人コソ何トカシテ救ハナケレバ時局柄ドウモ困ルデヤナイカト思フ、若シモ斯ウ云フ社會施設ニ於テ家族ノ多イ者ハ何人ニ制限ルトカ何トカ云フコトニスルナラバ、政府ニ於テソレヲ救済ノ方法ヲ他ニ講ジナイト將來困ルデヤナイカト云フヤウニ考ヘテ居ルデスカ、勿論今此ノ此處ヘ出テ居リマスカ法案ニ付テ斯ウ云フヤウニスルト云フヤウナコトモナイデセウガ、モウ一應サウ云フコトヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) 家族ノ數ノコトデゴザイマスカ、實ハ家族ノ數ヲ制限シテ、何人以下ト云フコトニスルト云フ考ハ持ッテ居リマセスカ、大體調べテ見マシタ結果

ハ被保險者家族ハ平均三人トナッテ居リマス、デスカラ平均トシテハ三人位ニナリマスカラ、大體ソレデ家族ヲ入レテモ差支ナイデヤナイカト、斯様ナ考ヲ持ッテ居リマス、尙ヨリ考慮致シマス

○濱口儀兵衛君 今ノソレヲ平均スルト三人トカ四人トカ、四十ノ家庭ヲ調べテ見タ所ガ四人ソコ／＼シカナイ、平均スレバサウダケレドモ、中ニハ今申上ゲタヤウナ風ニ非常ニ人数ガ多クテ、サウ云フ風ナモノハ就職困難ニナッテシマッテ、非常ニ迷惑スル者ガアルノデ、今富小路サンノ御話ガアッタヤウナ風ニ、若シモ制限スルナラバ、何カ多少制限以上ノモノハ政府デ先ヅ助カル途ヲ御考ヘ置キヲ願ヒタイ、私は是デ終リマス

○委員長(男爵大森佳一君) 今日ハ此ノ程度デ止メマシテ、明日ハ午前十時カラ開會ヲ致シタイト思ヒマス、質問ヲ續行致シタイト思ヒマス、必要ガアリマスレバ、船員保險ノ方モヤリタイト思ッテ居リマス

○子爵富小路隆直君 チョット委員長ニ御願ヒシタイト思ヒマスガ、明日療養ノコトニ付テ少シ伺ヒタイト思ヒマスカラ、其ノ方面ノ政府委員ノ方ノ御出席ヲ願ヒタイ

○政府委員(進藤誠一君) 承知致シマシタ

○委員長(男爵大森佳一君) 是デ散會ヲ致
シマス

午後三時三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵大森 佳一君
副委員長 子爵實吉 純郎君
委員

公爵鷹司 信輔君

侯爵蜂須賀正氏君

伯爵堀田 正恒君

子爵松平 保男君

子爵富小路隆直君

小原 直君

河井 彌八君

男爵小池 正晃君

河原田稼吉君

下村 宏君

男爵園田 武彦君

磯野 庸幸君

濱口儀兵衛君

松岡 潤吉君

國務大臣

厚生大臣 廣瀨 久忠君

政府委員

厚生政務次官 津崎 尙武君

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君
保險院社會保險局長 清水 玄君
保險院書記官 川村 秀文君

昭和十四年三月十八日印刷

昭和十四年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局